

母系家族

深谷照葉

母系家族

ミタニ ショウメイ
深谷照葉

人物

縄文 ナウアヤ 貝塚縄文。四十代初。コンビニのパイ

トタイマ。七児の母。母子家庭の主婦。

縄文の子

↓ 姪 三ヶ月。

1 法子 イリコ 18才、長女、高3。弁護士志望。

ひみか 16才、次女。光明光后教祖。

1 トニイ 14才、長男。プロ野球選手志望。

武男 11才、次男。航空自衛隊パイロット

志望。

政子 7才。三女。政治家志望。

明美 4才、四女。CA志望。

藤子 1才、五女。人形の代用も可。

祖母 六十代。七人の孫育てをしている。

曾祖母 八十代。認知症。

祖父 六十代。法子の祖父。大会社管理職。

祖母と恋愛関係

中田 四十代、政子の父。縄文の2番目の夫。
会社員。

川辺 三十代。コンビニの社員。コンビニ店
長の時、縄文の上司。妊娠3ヶ月の胎児
の父親。

西田 五十代女性。母子家庭支援機構の主任
。縄文の家庭を支援している。

原達三 四十代隣人。

静枝 原の妻

裂香 原と静枝の娘。中学生

富山 家を貸したい男。

救急隊員A

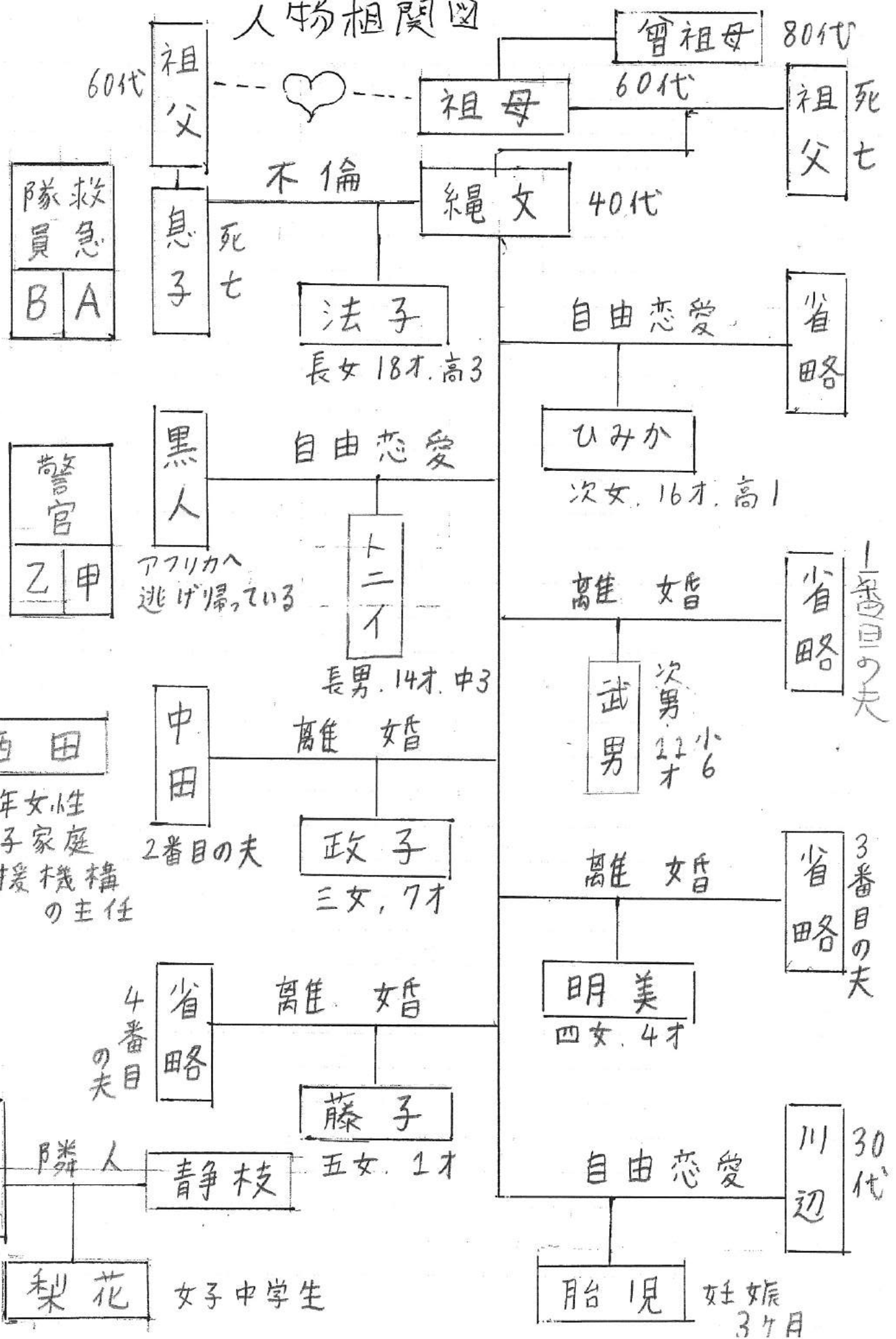
救急隊員B

警官甲

警官乙

人物相関図

人物相関図



3

4

1番目の夫

3番目の夫

30代

時

十二月中旬。政子の誕生日。夕から夜。

場所

公営団地にあるアパートの居間。母子家庭に有り勝ちな貧困さは無い。平均的な中流家庭の家具、電器製品がある。テレビ、ステレオ、パソコンがある。

4
本棚に百科辞典、コミック、童話等が並べられている。

4
ソファが置かれ、立食用大型テーブルが部屋の隅に準備されている。テーブルの下にダンボール箱があり、飲食物が入れられている。

HAPPY BIRTHDAYの横断幕が天井から吊られている。片隅に小さなクリスマスツリーが飾られている。

壁にランドセルと叩き^{ハタ}、時計が掛けられている。片隅に食品の入ったダンボール箱が積まれ、その横にゴミ入れが置かれている。

居間の後の隅にベビーベットが置かれて
れている。

あらすじとねらい

母子家庭の七才になる少女の誕生日祝いの
ホームドラマである。七人の子供を祖母が育
てている。七人の子供の父親は全員異なる。

5 母子家庭には貧困と教育の問題がある。貧
困は生活保護、児童手当、実父からの養育費
、母が働くことで解決する。

5 教育の問題は祖母の孫育てによって解決す
る。祖母による孫育てが教育効果が高いと強
調する。

七才の少女は政治家になる夢を持っている
。格差の拡大により99%が貧困者となるの
で、国会議員の99%は貧困階級出身者によ
って占められる。このため、貧困階級出身の
少女は容易に国会議員になれる。

少女が政治家になれる可能性を信じ、誕生
日を祝って踊る。

6
観客は居間の隅で誕生日祝いを見物して
いる感じになるだろう。驚き、笑い、感心し、
教訓めいたものを得るだろう。少女が政治家
になれる可能性が高いことを祝福するだろう。
そして、格差拡大がもたらす大変動、すなは
ち、貧困者が99%を占める社会が目前に迫
っていることに気が付き愕然とするだろう。誕
生日祝いを使って、格差社会の未来を語った。
 ترامプ大統領候補者の演説に強い影響を
受けてこのドラマを書いた。M. E. E. E. E.

6
MARKET AMERICA GREAT
光を再び取り戻すらと翻案した。

ク

法子は憲法を読んでいる。
ひみかには巫子の装束で瞑想している。
祖母は赤ちゃん、藤子の足の指を揉
んでいる。藤子はベビー・チエアに座
らせられている。

明美は祖母と藤子の近くに座り、英
語の童話を読んでいる。

西田はソファに座って、家族を観察
している。

ピンポンが鳴る。

ク

奥から政子が急ぎ足に現れる。頭に
テイアラが載せられ、晴れ着を着て、
可愛らしいエプロンを着けている。

法子は時計を見る。

法子 政子、まだ早い。お父さんではないと
思うけど。

祖父の声 法子の爺さんじゃ。開けて下さる
んか。

祖母 明美。

明美 ハイ。

祖母

藤子をあやして。

明美は藤子の足の指を揉む。時々、手を休め、童話を読み、藤子を見守る（子守りをする）

祖母は祖父を出迎える。

法子は立ち上つて、祖父を出迎える。

祖父登場。

政子は失望して顔を伏せ、祖父の後から現れ、奥へ入る。

8

祖父

かなり早いが、居ても立つても居れなくて、やって来た。お婆ちゃん、逢いたかった。

8

祖母

私も。

右上腕で乳房を持ち上げ、祖父の体に密着させて上腕を外し、右腕を祖父の首に回し、ハグする。祖父の手は祖母の背を撫でている。

祖父

この前、少し話したが、今日仮契約が成立した。

祖母

おめでとうございます。

祖父 ありがとう。大手柄を立てたので、真
っ先に聴いて貰いたくて、大急ぎでやつ
て来た。

祖母 話して。

ハグを解き、少し離れて祖父を見詰
める。

祖父は西田を見る。

祖父 国家レベルのトップシークレットじゃ。

9 祖母 あの方は、わが家を援けてくれている

母子家庭支援機構の主任さんで、この辺
りを担当されておられる方です。

西田は立ち上り祖父に挨拶する。

9 西田 はじめまして。西田です。このお家ウチに
はよくお邪魔しております。

祖父 貴方の助けがなければ、一家はとっく
の昔に餓死している。

祖母 西田さんは、母子家庭の秘密を守って
下さる方です。

祖父は西田を観祭し、時間を稼ぐた
め話題を変える。

祖父 大事なことを忘れるところじゃった。

政子 チャンは？何所に居る？

祖母 オーイ。政子。お爺チャンが呼んでお
るぞ。

政子の声 ハーイ。

祖父は祝儀袋を取り出す。

政子は現れる。

祖父 ハツピイ バーステイ マサコ

政子に祝儀袋を手渡す。

政子 ありがとう。お爺チャン。

祖母 お爺チャンに、次に逢った時は、何と

礼を言うか、考えたか？

政子 ハイ。

祖母 言つてごらん。

政子 お爺チャン。この前は私の誕生日を祝

つて下さつて、ありがとうございました。

欲しかったバトミントン、セットを買つ

て、お姉チャンとプレーしています。

祖父 すばらしい。そう言われると次に逢つ

た時は、もつとプレゼントしたくなる。

祖母 将来起きることを想定し、対応策を練
って、頭の中でリハーサルする習慣を身
に着けさせている。

祖父 有名スピーチは、そうして生れる。

西田 お婆ちゃん。すばらしい！こんなこと
を教える親はいません。

祖母 貧乏人の智慧じゃ。

祖父はポケットから財布を出し、数
枚の千円札を政子に手渡す。

祖父 この婆ちゃんは、人誑しの術を教ええ
るお師匠さん。

祖母 政治家に必要な技を磨いている。

祖父 バトミントンを買うには不足すると思
うので追加した。足りなければ言ってくれ。

祖母 貴方はとつてもやさしい。やさしさは
金額で計れる。

祖父 その通り。

政子 お爺ちゃん。ありがとう。

祖父 今、何をしているの？

政子 洗濯。

祖父 洗濯機使えるの？

政子 ハイ。使えます。

祖母 セオの誕生日から、自分の下着は自分で洗うことになっておる。

祖父は西田に向く。

祖父 いい寝じゃ。驚いたでしょう？

西田 ハイ。驚きました。

祖母 こうして、自立心を育てる。

祖父 こんな家庭ありますか？

西田 :: 見掛けません。

祖母 風呂、便所、床下の掃除、皿洗いの当

番が割り当てられる。

西田 大丈夫でしょうか？

祖母 最初から完璧には出来ぬが、経験を積

むと要領が良くなる。

政子 お姉ちゃんやお兄ちゃんのすることを見

て覚えていきます。

西田 すばらしい！

祖母 母親はパートで働かねばならぬ。親の

家事負担を軽くして、兄妹が助け合うよ

うになる。

西田 男の子も家事をするのですか？

祖母 差別はしない。

西田 母子家庭のお母さんは疲れてくたくた。
。こうすれば好いと教しえてあげたい。

祖父 ところで、法子。

法子 ハイ。

祖父 志望大学は決めたか？

法子 ハイ。決めていた通りです。

祖父 賢明な選択じゃ。大学入試で浪人する

よりも、司法試験で浪人した方が好い。

法子 ハイ。大学を卒業して、25才までに

赤チヤンを産みたいと思っています。

西田 勉強の妨がたありませんか？

祖父 少し早いようだが？

祖母 早くない。最適じゃ。人間は動物。若

い体から健康な子供が産れる。

祖父 この家から通学すれば、お婆チヤンが

孫育てをしてくれらるだろう？

祖母 楽しみになっている。

祖父 この婆ちゃんは四十代の体をしている

から大丈夫

祖母 沢山産んでくれ。

法子 その時はお願いします。

祖母は政子に向く。

祖母 洗濯を続けて。

政子 ハイ（奥へ入る）

祖父は法子に向く。

14 祖父 年を取ると心配ごとを見付けて心配す

る。要らぬ口出しが止められぬ。アルバ

イトは、あまりやらぬ方が好い。スポー

ツをし勉強をしろ。

法子 ハイ。そうしたいんですが、入学時に

お金が必要です。

西田 奨学資金は借りられるでしょう？

法子 借りたくないんです。ローンは怖いん

です。

祖父 死んだ息子に代って、この爺チチに父親の

代りをやらせて貰う。

祖母 お願いします。

祖父 仕事が成功したので、収入が増える。
その分上乗せできる。

法子 ありがとう。お爺ちゃん。

祖母 法子、この前のアルバイトを話せ。

法子 ハイ。この前の日曜日、英語の勉強を兼ねて、外国人旅行者を、農家へ案内して、燕の巣を見て貰いました。

祖父 好い所に目を着けた。燕に巣を作らせるのは日本人だけじゃ。

法子 巣を見て感動していました。

祖母 猿の温泉湯浴も面白いが、燕の巣を見れば、日本人のやさしさを知って貰える。

西田 私達には身近かなことなので、外国人に見て貰うことには気が付きませんでした。外国人にも日本にとってもすばらしい観光案内をされました。

祖父 ニニ元々とニトッアシークレットじゃがニニ原子力発電船を10隻輸出することになった。

祖母 おめでとうございます。

法子 お爺ちゃん、おめでとうございます。

祖父 ありがとう。

祖母 (頭を指差す) ここが変でなければ考

え付かない企画。

祖父 褒められると、嬉しい。

祖母をハグし、しばらくして放す。

祖母 ひおひ。

ひおひ ハイ。

祖母 お爺ちゃんが活躍できる様にお祝い

をして差し上げて。

ひおひ ハイ。

御幣を持って立ち上り、祖父の前に

立ち、御幣を捧げて黙礼し、祖父の頭

上で御幣を振る。

ひおひ 袂え給え浄め給え、原子力発電船の

建造と輸出で国を富ませ、原子力発電

船の船出に幸多かれと祈る。永久に事

故無からんことをこい希う。

御幣を祖父の頭上で振って一礼

祖父 (礼をして) ありがとう。

ひみかは元の場所に戻って瞑想する。

西田 あのうち、原子力発電船は建造されてい
るのでしょうか？秘密を知っても決して
口外いたしません。

祖父 建造されておりません。これは、新幹
線の輸出以上の国家的大プロジェクトで
す。

西田 ハイ。

17
祖父 旅客機の輸出契約と同様に、設計図
と仕様書だけで契約する。

西田 そうでしたか。

17
祖母 (祖父に腕をからませる)うちの人は
、花形輸出産業の最先端で活躍し、日本
経済を世界一にする英雄です。

祖父 その言葉は総理大臣からの表彰や、勳
章以上に嬉しい。

祖母 キスしてあげる。

祖父 ありがたい。

祖母は祖父にキスする。

祖母 孫達の希望の星です。

祖父 心はテイインエイジャーのように弾む。

大事な仕事をした後の男には女が必要。
抱きしめて語り明かしたい。

祖母 女は尊敬する男に抱きしめられたい。

西田 私、歴史的瞬間に居合わせています。

祖父 東京湾、大阪港、名古屋港に配置する
計画になっている。

祖母 すばらしい。

祖父 遂次、地方都市の港に設置する。

西田 エツ？人口の密集した都会に設置して

大丈夫でしょうか？事故が起きると、被

害は甚大です。

祖父 原子力空母が接岸して送電すると考え
ると判りやすい。

西田 ……だつて……

祖母 だつてじゃない。

祖父 活断層近くに設置するよりもはるかに
安全。

西田 ……

祖父 第五世代の原子炉なので事故は起こり

難い。

西田 。。。でも。。。

祖父 地震が起きても船は揺れない。パイプは破損しない。建屋のコンクリート基礎が亀裂し地下水が噴き上ることもない。

西田 人口密集地域にあるのは不安です。仕事と交付金が欲しいと希望し、危険を承知の上で原発の設備稼働に賛成する地方のために、原発は地方に設置して差し上げるべきです。都市で原子力発電船を運用

用することは悪いことです。

祖父 その通り。本音で説明しものを言わな

いから、話が判り難くなっている。

祖母 反対運動が起きないように、情報は隠

くした。

祖父 一般人には科学知識が無いから騙せる。

祖母 欲に目が眩んだ者は、だますのが上手

じゃ。騙さねば儲からぬ。

西田 あの事故で、私達が得た教訓の一個は、科学者には良心が無いことです。

祖母 知れわたってしまった。

祖父 科学の進歩を止めるべきではない。限りのある化石燃料を考へ、将来のために原子力の火を消してはならぬ。

西田 仰しやることは理解できます。想定外の事故は起きませんか？

祖父 事故は全て想定内。失策を隠すため、想定外とか天災地変を逃げ口上に使う。

20 祖母 平気で嘘を吐く者が多くなつた。

祖父 活断層の多い日本では事故が起きるの

は想定内。

20 西田 エーッ！それ、無責任です。

祖父 原子力発電船が到着すれば、すぐ送電できる。電気が不足している国にはもつてこいだ。

西田 買う人が居ますか？

祖父 深山居る。電力会社はボロ儲けができるからじゃ。

西田 信じられません。

祖父 発電は簡単。自転車を踏んだら発電で

きる。

祖母は拍手する。

祖母 お爺チヤンの説明、判りやすい。

西田 後進国に輸出しても大丈夫ですか？

祖父 日本には事故対策のノウハウが蓄積された。技術指導が出来る。

祖母 原発は安全と説明しても、だって、と考える。原発の話は、これで終りにしましよう。アナタ、お座りになつて。

祖父 思わず熱が入つた。喋り過ぎたようにい

21

祖父と西田はソファに座る。

祖母は茶さいれ、祖父と西田に配り、自身用の茶碗を持って祖父の横に座る。藤子を抱き寄せ足の指を揉む。

祖父 法子。

法子 ハイ。

祖父 中国語はどうかね？

法子 続けています。

祖父 中国語は将来どっちに転んでも役に立

21

っ。

法子 ハイ。そう思っています。

政子は現れる。エプロンは外して
いる。

祖母 終わったの？

政子 終わった。お姉ちゃんの洗濯物乾いてい

たから取り入れた。

法子 ありがとう。

祖母 物干竿空いていたでしょう？

政子 高くて手が届かないし、テントが邪魔。

座ってウオークマンで英会話を聴く。

西田 あのう：：：

祖母 ハイ。何か？

西田 私はお宅へお邪魔するようになって一

年が過ぎました。

祖母 お世話になっております。

西田 お宅のお孫さんは、どうしてこんな

いい子なんだらう？どんな育て方をされ

ているのだらうか？と考えています。

祖母 学者が書いた育見書は役に立たぬ。平

凡人の子にしか育たぬ。この爺チヤンのよ
うな個性的人物を育てる方法がある。

祖父 私ほ口の汚い、平凡な^{ヒネク}捻れ者。

祖母 だから大きな仕事が出来る。原子炉を

船に積むようなことは考え看かぬ。

西田 個性的な子供に育てる秘訣を是非教し

えていただけませんか？

祖母 教しえてくれと言われども、考えては

やっていない。簡単過ぎて話しようがな

い。聞いてくれたら答えよう。

西田 それではお聞まします。

祖母 どうぞ。

西田 テレビを見ないようです外、禁止され

ていますか？

祖母 禁止していません。テレビは好きじゃ

他にすることがある。

祖父 テレビを見ることしか遠ることがない

のとは大違い。

祖母 大食い女を見て腹を立てる。

法子 私達、大嫌いです。

西田 その気持よく判りませぬ。食糧が不足して
いる国の人には見せられぬ。

祖父 女の服を着て濃い化粧のタレントは子
供の健全な心を損う。

祖母 オカマでなければ、タレントになれぬ
と諷解させる。

西田 有言なげれど、放送し、見る自由が大
切だから我慢する。

祖父 オカマは見世物で、商品のイメージを
悪くする。わが社はオカマを使わぬ。

西田 使わぬ自由が大切です。

祖父 入社試験でタツトを入れた女子大生を
不採用にした。タツトを入れたのは自由
。タツトを入れた着を不採用にするのは自由
がある。

西田 こんな大事なことに気付かず、軽率に
ノリで入れてりる。タツトを入れた着に
大事な仕事はさせられぬ。

祖父 消すには金が掛る。傷痕が残る。

西田 スマムを飲しかりませんか。

祖母 塲帯は大学に入ってから持たせる。

西田 納得しますか？

祖母 しない。依存症にさせないしスマホを
見る時間を勉強に使えと言つてある。

西田 それで、納得しますか？

祖母 しない。欲しい物は買つて貰える家庭
では無い。金が有つても買やぬ。

西田 友達は全員持つていきますか？

祖母 他人は他人。自分は自分と考えさせる

祖父 強い心に鍛えられる。

ネカ

西田 心死に強請までしようか？

祖母 それでも買つてくれず、思い通りにな
らぬい母と波キヤンへの懺悔、諦められ

ない心を、自身で見詰めさせる。

祖父 すばらしい。

祖母 実の女に買つてくれと道訴し蒸が、心
を慰にして買わせるがった。

祖父 スマホを買うために、アルバイトをし
ようとしたが、

祖母 貧乏人の子か家計を助けるためにバイ

トすることと薬のぬ。バイトをすれば免

強さ(なく)なる。勉強をやらぬと食えん

なる。スマホを買っためのバイトを禁

祖父 小遣い懐きは止めさせのシカにな。

祖母 小遣い懐きはやらせぬ。

西田 子供さんは反抗的ではありませぬ。

祖母 スマホを買ってくれなりのことが調心

芝知つてりませぬ

一 西田は藤子の足の指を掃いでい

母の指を指差す。

西田 そうして、赤チヤニの足の指を掃いと

マッサーニ効果があることは知られてい

ますが、他に特別な理由があるように見

受けられますが、

祖母 こうすしと、脳が発達する。

西田 (しばうく考え) 初めて聞きました。

祖母 人類は直立歩行し、手の指を動かすこ

とで脳を発達させた。

西田 ハイ。そのように学んでいきます。

祖母 これから話すことはトリカニークレツ

ト(四)りを見出す(口外)されては困る。

西田 口外しません。

祖母 今は備差値で検付けする時代。他の子

供と差をつけねばならぬ。他の子供の頭

が好くなつてはわが子が低くなるよ。

西田 ミミミ

祖母 ノーコメントです。

西田 もう少し説明を受けよう、させて下

さい。

祖母 こうして、足の指、足の裏を刺激する

と、脳は二倍発達する。

西田 医学的に証明されていきます。

祖母 医者には家伝の秘密を知らせぬ。昔か

らじ先祖様が経験して知っていた。

祖父 マツサーミサセのこと気持より。快感を

与えられて、愛されていよと実感するよ。

祖母 若い者はスキニツツブと言つと判り

やすい。

祖父 子供達が偉くなるの、足の指を搦ん

かしたと、お母さんでやるよ。

西田 ニニニ

祖父 信にたけおを掃まかたけおはナリ。掃ま

たけおは掃くことなるがニニとて、証明が
きよだろごう。

西田 ニニニ

祖母 頭を撫でると頭が好くなり、頭を殴

ると悪くなることは知りおとし。

西田 同意します。

28

祖父 「快感を与えるの痛さを与える」で考之

てみよう。虐待ヤおたは痛めた耐えな

28

うとして痛覚を鈍くしようとす。痛覚

が鈍くなると他の感覚も鈍くなる。他人

の心が判らぬ、痛覚が鈍いため残虐な

犯罪者となる。

西田 ニニニ

祖父 子を殴り親は子を犯罪者に育てて

る。

西田 この言葉なら理解できます。

西田 おうかく判らぬ。見て下さ(ニニ)

藤子を指差す。食い物を咬しがつてニニ。

西田 あらういぼんと。

祖母 子育て経験者は知ってる。

祖母は男に入る。

明美は祖母に代って孫子とあがます。

祖父 妹の子守りは母親にたつた時に役に立つ。

西田 そうですか。そうなんだ。

祖父 この赤ちゃんはお母さんが兄に子守りさせたことを体で覚えてる。

西田 そうですか。そうなるでしょう。

祖母 姉や兄は子守りさせたことを染りい思い出にしてる。嫌な記憶は子守りした

西田 あ、フー、そういう言葉で、思い当ります。

祖父 兄弟の強い絆が生まれる。子守りさせたい親が居るが、とんでもない誤りだ。

西田 一人の子守りさせられたら、出て来ません。

祖父 一人の子守りさせてはダメだ。

西田 その言葉、政治家が聞くときも聞かれます。

祖母は離乳食が入った小皿を持って
現れ、小皿を明美に手渡す。

祖母 食べさせて。

明美 ハイ。

祖母 熱い方がいいと点検して。

明美は小皿を頬に押し当てて温度を
測る。

明美 熱い方がいい。

離乳食をスプーンで食べさせる。

祖母 赤子やこの食べ方や表情を観察してり

る。

西田 そのようです。

祖父 明美ちゃんはお女の子がわー

明美 女の子に、女の子かと尋ねてはりけま

せん。失礼です。

祖父 失礼しました。許して下さい。赤子や

んを何人くらいたまひたりのまー

明美 お母さんと同じくらい。

西田 ワーッ！すごい。

祖母 それなら骨盤体操をやらあがなうめ。

りあがりなふり。お菓子やニにやつて見せて。産乳食を渡して。

明美 ハイ。

祖母は小皿を受け取り、藤子に食べさせる。

明美は祖父の前に立つて、右足を蹴り上げ、後へ跳ね上げる。次は左足を打たう。両膝を曲げ両手横に水平に伸ばしヒップをゆるくりと左右に回転させた。次に右腰を下に下げ、左腰を上

昇盤を前傾後傾させる。

げ、右腰を下げ左腰を上げる。

31 祖母 骨盤が発達し、ヒップは大きくなり安産体形を作る。

32 祖父 拍手しセクシーじゃ。昔フラフラが流行した。ブラジル美女になる。世界で見劣りしない日本人の改善じゃ。グローバリゼイションじゃ。

祖母 肛門を締めて。

明美 ハイ (しばらく静止)

西田 すばらしい。古いタイプのあせちヤン

が、最新の美容体操を教しえている。

祖母 世間の母親は娘を母親に育てようと考
えておらぬ。

西田 そう言われると、そうですね。

祖母 強健な体に強健な子が宿る。

西田 すばらしい格言です。

祖父 お婆ちゃんのこと、頭を指差すくには
知恵が詰つている。

明美は祖母から小皿を受け取り食べ
させる。

32
西田 母子家庭の子供は情緒不安定にちりが
ちですが、このお家うちでは皆さんとつても
安定して、もの静かです。

祖母 生まれてから、守られ、愛されて育てら
れていることを知つているからです。

西田 問題児が生まれ、慈念は皆無です。

祖母 赤ちゃんとや幼い児は母の体内のよう
に暖くて柔らかな肌や胸に抱かれて安心し
幸福な記憶を皮膚に残している。

祖父 愛されて育つた者は人を愛する。

祖母 傷付けられて育った者は人を傷付ける。
西田 母子家庭にありがちですが、いじめに

遭つていませんね。

祖母

いじめられる筈が無い。大勢の兄弟の
中で押合オサアいヘサアりして育つので、一人つ
子のようないじめられる性格に育たない。

祖父 いじめられたらやり返す体力と智力を

持つている。弱くはない。

西田 いじめられる性格があると言うことで

すか〜

祖母

その通り。

祖父

いじめられる側が抗議しても効果が無

いばかりが逆効果になる。いじめは悪い

いじめてはいけないと指導しても効果

は無い。あるなら、とつくの昔に*いじめ*

は無くなつている。人類は弱いかう群で

なければ生き残れない。群が危うくなる

者と排斥しようとする。これが、死ぬた

西田 そうでしようか〜、そんなこと言え

ませぬ。

祖父 その結果、いじめられる側の研究を疎かにしたの意識して選んでいる。現場の教師はこのことを知っているが、口に出す事はない。

西田 説得力がありません。説得されようではないです。

祖母 真実から目を逸らし、いじめを悪いと口を揃えておれば、貴方の子供はいじめられはない。

祖父 多数派の群の中に居れば、安泰で居れる。

祖母 食ったら、必ず眠ること。

藤子を抱いてベビーベッドに寝かせてる。

西田 もつと静かな部屋で寝かせないのですか？

祖母 もの音のする場所が好き。家族の立てるもの音を聞くと、家族の中で守られていよと感じて安眠する。

西田 お婆ちゃんも孫育てがとつても静しそつにお見送りします。

祖母 孫育ては楽しい。ペットを飼うより楽しい。孫育ては婆ちゃんの生き甲斐。大昔から婆ちゃんの役目。

祖々 生き生きしている。

祖母 孫育てが出来ぬ婆ちゃんは気の毒ではない。
うん。

西田 お婆ちゃんを孫から遠ざけるお嬢さん
がいます。

祖父 そして育児ノイローゼになる。

祖母 子育ては理屈じゃない。経験だと気付

かぬ。

西田 お婆ちゃんに、孫育てに戻って貰えな
いでしょうか。

祖母 お婆ちゃんは、カラオケ、ゲームボ
ール、社交ダンス、お寺参りで忙しい。

ひみか お寺参りは信じてはあります。観
光旅行です。

祖父 その通り。ペットを飼って家族扱いを
するのには孫育て、子育ての代用。

西田 そのように指摘されることを嫌がりま

す。

祖母 犬一匹の餌代でもが家の子供二人分の
食材が買える。

西田 餌はペットを飼わないうように助言して
います。

祖父 見識のある指導です。

西田 子供はペットを飼いたがりませう。子犬
を飼いたいと言えど、このような対応を
ナシませうか。

祖母 明美。

明美 ハイ。

祖母 何と言われたか、話せ。

明美 おマエの飯で飼え。

祖父 世の中の親に教しこてやりたり台詞い
や。

祖母 孫達はペットが好きだが、欲しりとは
言わぬ。

祖父 どの屋の口車にのつて、情操教育に
役立つと信じる為鹿がある。ペット屋は
売れ残った子犬を殺してりる。

祖母 聞いた話じゃが、この田舎のある家の

子役は、親に反対されるものだから、お
婆ちゃんに子犬を買ってくると道訴した

祖父 それで、どうなったかー

祖母 姑と嫁の喧嘩になった。

祖父 よく聞く話じゃ。

祖母 姑が嫁の教育に口をはさまると縁でもな
りことになる。

37

西田 お嫁さんとは意見が合わないものじゃ。
祖母 姑と嫁は育った家が違うのだから、子

育ての考えが違うのが当然。

37

西田 そうなんです。

祖母 大事なことを忘れてぬりかぬ。嫁と姑
は仲好くなれるもの。

西田 私、姑に干渉なれませんでした。もうでも相い
出まじと腸が煮えくりかえります。

祖母 無理に仲好くするのは居ますよ。(頭を
指差す)ここが狂う。

西田 舅は、私に頼まてこの種のことを本音
で言ひませんでした。

祖父 二十一世紀の今日でも、お姑さんお口

出しするものが孫のためだと信じている。

祖母 一軒の家で、お婆ちゃん、娘、孫の三

代が共同して暮らすと問題は少くならぬ。

祖父 アフリカのライオンの暮らした心せ。

祖母 そうです。それが哺乳動物の本来的生

キ方です。人類は太古母系家族だった。

祖父 光彦氏は女性の家へ通った。

西田 ここそう言われると、そうです。結婚

した男はどう暮らしますか？

祖母 嫁の家に住みなければ、居候になる。

祖父 最近まで、もしかすると現在も、地方

の一部に母系家族制が残っている。

西田 ツアーで見物に行きました。丈夫な家

に何世代もが大勢で住んでいたそうです。

祖母 それが好いのだ。女の不幸は嫁入りか

ら始った。

西田 プライバシーは無いようでした。

祖母 親兄弟の間では、プライバシーは要ら

ぬ。

西田 子供の勉強はどうしますか？

祖母 子供がケイの場合は母親の横、台所が好
い。大勢の場合はこんな具合に居間です
るのが好い。理解できぬことは父や姉に
聞けばよい。兄や姉はそれとなく弟や妹
の勉強を見ているものじゃ。

西田 ああ、うん。明美十ヤニは英語の童話を
読んでいますか？

祖母 日本語の童話を見るのと同じ。絵から
文字と発音まで覚えます。

祖父 日本語が読せるようにしたが、日本語を
習うのに苦労したか？

西田 苦労していません。

祖母 英語も同じ。

西田 シシニ

祖母 産しかめて見せましたよう。明美、何を
読んでいますか？

明美 白雪姫と七人の小人。

祖母 理解しているかどうかを、質問して下
さい。

西田 信じられなかったけども信じるために質問させてね。白雪姫は英語で何と言

の？

明美 スノーホワイト。

西田 マル。何故、白雪姫と呼ぶの？

明美 雪のようと白いから。

西田 マル。すばうーり。

祖母 その質問、この子に何を教へたの？

西田 何でですか？

明美 4才です。

西田はしばらく考える。

40 西田 難しい質問をします。女王は魔法の鏡に、何と言つて尋ねたの？

明美 マジックミラー オニザウオール

フウ イズガ フェアエスト ワン

オブ オールマー

西田 エーッ、意外です。日本語で答えられたと思つてたのだけれど、英語で答えられた。すばうーり！ (拍手・賞讃し、見詰め)

明美 この言葉は大切だから、暗唱しなさい
と、お姉さんに教しえられた。

祖父 タネ明かしをしたようだ。

西田 お姉さんが姉さんを指導していいこと
がよく判ります。

祖母 狭い部屋で勉強するからいせ。

祖父 山奥や離島の複式学級のようには、低学
年は高学年の予習することになる。

41

西田 判ります。
祖父 貴方が気付いていなりことがある。

西田 エフ、私か、何でしょうか？

41

祖父 この子の頭の中では、マジックミラー
は魔法の鏡と訳してりなり。絵本の絵の
マジックミラーとして知覚してりる。曰
本語と英語は言葉として同列に記憶され
てりる。

西田 そうでしたか？

祖父 絵を指さして何かと問えば、マジック
ミラーと答える。日本語に訳して魔法の
鏡とは答えない。

祖母 こんなに優秀な子供達を世に埋めては

ならぬ。安心して勉強できぬように、
お方を貸して下さり。添えて下さり。

西田 勿論です。

祖父 このしたたかなお婆ちゃんの影響には
めろれました。

西田 不快ではありません。お婆ちゃんの孫
を思う必死さは伝えます。この仕事を
始めて、こんなに心地好い感動は初めて
です。この仕事をしてみたい。

42

42

祖父 爺ちゃん婆ちゃんに育てられよと、孫
の頭は好くなよ。それまでの人生経験も
習得した知恵を孫に伝えてあげよう。

西田 同感です。実の父親に逢いたがりでし
ようね。女の背を見て育つと言いますか
らう。

祖母 父親に逢いたりののは自然な感情。祖父

は実の父親と逢い合おう形に逢った。
実の父親が逢いに来よことを望んでい
る。子供の心に好い影響を成すからう。

西田 お父さんは何時来るの？

明美 次の日曜日。サニタクロースを見に行
く。

西田 よかつたわね。

トニイと武男帰る。トニイは野球の
ユニホームを着ている。

武男はカニホール箱を重そうに抱え
ている。カニホール箱と積まれたカニ
ホール箱の横に置く。

法子 トニイ。

トニイ ハイ。

法子 間もなく、お容赦が来られてしよー
玄関が狭くならなりようにバットやグロ
ーヴを置かたりで。

トニイ ハイ(玄関に向う)

武男 茶っ葉、パニの耳、ラーメン貰つて来
た。

法子 ありがとう。

トニイはバットとグローヴを持って
現れ、奥に入る。

武男 パートのおばさんに、鬼飼っているの
と尋ねられた。

法子 何と返事したのさー

武男 人間飼っていると答えた。

祖父 正直で正確で真事を答えた。

武男 変な顔してた。

祖父 あの君のオーサーは苦勞人じゃ。

西田 男の子なのに偉い。勇気が有る。

祖父 決して取っ払いことではなない。

武男 いつも、準備してくれてある。

44 法子 トニイは一緒に入ったのさー

武男 外で待っていた。

トニイは現れ、子供達の中に入る。

武男 腹減った。

祖母 健康で、よろしい。

法子 パーティまで断食。

西田は武男に向く。

西田 大きくなつたら、何になりたりのさー

武男 航空自衛隊のスクラムフルオースはジヤッ

ト戦闘機のパイロットにたりたい。

祖父 地上での操縦訓練として、モトクロス

のバイクに乗ったがつてりる。部隊に問
い合わせると効果が期待できるとの返事
を買った。

西田 ロをばさむのだが、少年を禁止され
ていりし、危険ではありませぬか？

法子 国防のため、優秀なパイロットを養成
しなげればなりません。

武男 毎日のようにスクラ4ブルしてりる。

祖父 パイロットが不足したりように、ルサ

リ子枝の頃から訓練をすまふべきじゃ。バ
イクは母親に強^ネ請^ダつて買って貰え。中古
なら安く買えよ。

祖母 ロも出さず、金も出さず、でしようね。

祖父 勿論だ。

武男 ありがとうございます。お爺ちゃん。

祖母 お爺ちゃんには、日本の経済を立て直し
繁栄させる企画の中心人物。カになつて
くれよ。

法子 ありがとうございます。お爺ちゃん。

祖父 国防費いせ。喜んで使う。

ピピおこが鳴る。

政子は急いで玄関に向う。

西田、祖母、法子は時計を見よ。

配達員の声 もくもく、電急使がす。

西田 着いた。重りので、トニー君、運んで
下さるる。

トニー ハイ。

西田とトニーは玄関に向う。

政子は引き返して、もとの場所に戻

46

法子 試合はどうだった。

リ、ウオークマニを脱ぐ。

武男 弱過ちて面白くなかった。1と2対の

コールド勝ち。

持ってる

トニーは大きなコニテナを現れ、カニ
ホールの横に置く。

西田 開梱して下さるる。

トニー ハイ。

開梱を始める。

法子 ホームランは何本。

哉男は立ち上りホシムランを打つ動作。
作。

哉男 二本・ホワーボールばかりで打たせて

くれなひ。

法子 三振は、

哉男 (投球動作) こいえつとこいこい 9個。

法子 スカウトは、

哉男 いつも見掛ける人は三人。たぶん他の

高校から二人。

トニーは開梱を終り元の場所に戻る。

西田 甲子園でスターになりプロ野球選手に

なるのでしようね。

祖母 歌う野球選手になる。

哉男は座る。

西田 うわさは聞いてりません。甲子園で優勝

すると、この町が有名になるので、野球

のベ이스型のトニー最中を売り出すそう

です。

祖父 少し早いが、抜け目がなひ。

祖母 父親はアフリカに逃が帰らなければ、

トニイのパパにされた。

祖父 早まったようだ。

祖母 日本でしこたま嫁いで、こつそり持ち

帰って行方不明。出産費を出さずじまい。

西田は会話をトニイに聞こえていゝことを気にしてトニイを見た。

西田 あのう、トニイ君に聞えてりませんが。

祖母 父親の悪口を言われて気にするほど弱くたゝり。

法子 プロ野球で嫁ぎます。

48

祖父 不良外人の違法が目にあふる。妊娠が判

子と、逃亡と財産の持ち逃げを阻止する法制度が必要。逃げ帰つた場合は母国政府

を通じて養育費を送らせる条約が必要。

グローバル化した現在、生れる子の幸福を考えて制度化したければならぬ。

西田 たえば、妊娠した女性は、その相手の男の出国禁止を要請する制度です。

祖父 財産の凍結もすべき。

西田 支援物資を誂べて下せり。

西田、祖母、法子とひさがはコニテ
ナの周りに集り、コニテナの内物品
を調べる。

曾祖母は奥から現れる。有害鳥獣威
嚇用のポストルを構えて一回を見回す。
トニイ。玄關のドアしをロツクして。

トニイ ハイ。

急いで玄關に向う。

曾祖母は鳥獣を探して歩く。

トニイが現れる

トニイ ロツクされてりる。

祖母 それなら安心。

曾祖母は歌いながら舞臺を一周する。

歌詩 里山

ここは里山 過疎の村

爺チヤニ婆チヤニ たちが住む

奥からお猿さん 下りて来た

奥から鹿が 下りて来た

奥から猪 下りて来た

人食い熊が やつて来た

人を食つたら 撃たれるよ
柿を食ったら 撃たれるよ
畑を荒らすと 撃たれるよ
人間怖いの 知らぬいの
早くお帰り 奥山へ

曾祖母は舞臺中央に立ちトニイを見
る。

トニイは立ち上り曾祖母の前へ行く。
祖母 トニイ。いつものように曾婆チヤコの

腰を伸ばして。

トニイ ハイ。

曾祖母からピストルを受け取りズ
ルトに差す。曾祖母と背中をおせにな
り両腕をからませ、両肘を曲げる。

トニイ 曾婆チヤコ、いりまー

曾祖母 いり。

トニイが上体を前傾すると、曾祖
母の体はトニイの背中の上に持ち上げ
られ、顔は上を向き両足は宙に浮く。

トニイがさうに上体を前傾させると
曾祖母の腰は伸びたれ両足は跳ね上る
。トニイが上体を前傾し、少しもとに
戻ると曾祖母の両足は上下に振られた。
上体を起こして立ち曾祖母の足を床に
着ける。

51 曾祖母 トニイしよ。

前傾してトニイを背中に載せてト
ニイの腰を伸ばそうとする。

トニイ 曾祖母ヤニ。無理無理。

51 曾祖母 交替ノ
祖母 曾祖母ヤニ。ストツポ。

曾祖母は両腕を外して、トニイと向
き合う。

曾祖母 ありがとセン。腰が伸びて気持ちい

り。高校の体育でよくやった。

コニテナを取り巻いている祖母の脇
を擦り抜けてタニホール箱を持ち込
見てフレームのバックを取り出す。

トニイは元の場所に戻る。

法子は女子高校生の制服を持ち上げる。
 曾祖母は制服を見詰め視線を下す。
 法子 紅蘭女学園高校の制服じゃありません。
 ひやが あらうまーぼんとろーここにマークがある。
 法子 デザインを変えたみたい。
 ひやが スカートの丈を10センチ短くしたので、受
 験者が二倍に増えた。
 曾祖母は制服を奪い取り奥へ入る。
 祖母 武男。曾祖母にラーメンを作つて
 あげて。

武男 ハイ。
 タンボール箱からネギと白菜を取り
 出す。
 武男 野菜を多目に入れてあげます。
 トニー これを返して。
 ひや ストルを武男に手渡す。
 武男は奥へ入ろうとする。
 祖母 おまエが食ったろ、りかぬ。
 武男 ハイ。食べません。
 奥へ入る。

西田 曾婆チヤニは曾孫に大切されて幸福で

ずわ。

祖母 住み馴れた里山で暮らしたかったのだ

ケヤじ、都会からの移住者が介護施設に入居したので、曾祖母が認知症になつても入居できなないので、引き取った。同じ家で暮らしたかった。

祖父 この婆チヤニのやさしさが好きじゃ。

祖母 流し台の下で寝て貰う。

法子 お婆チヤニ。子供は全員揃ったので、

憲法を朗読します。

53

祖母 丁度より時間じゃ。

祖父 憲法はお経と同じ。論理的で簡潔しか

も隙が無い文章を書く力を付けられる。

祖父 貴方の指導が始めてから、琴達の作文

、巻末が格段に好くなつていら。

法子 成男、聞えるか？

成男の声 聞えていら。

法子 それでは憲法前文から始めよう。耳を澄

して聞いてシシシ。日本国民は、恒久の平

和を念願し、人間相互の関係を支配する

公平高き理想を高く自覚するのであって、

平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼

して、われらの安全と生存を保持しよう

と決心したここに、お爺チヤニ、判らるハ

ことがありません。教しえて下さり。

54

祖父 何かね。

法子 平和を愛する諸国民は、英語で

Peace-loving Peoples of the World

と訳されてります。世界に平和を

54

愛する諸国民は、いませぬ。

祖父 いなり。

西田 エーツミいなり人ですか。

祖父 りるはずがない。

西田 真実にはいりないんですか。

祖父 実在しない夜空の国民を設定して、作

文した。

西田 ショックです。信じられません。

祖父 日本の周縁を見回して下さり。

一同は沈黙し考へる。

武男は奥から現れ、元の場所に戻る。

祖父 平和を愛する諸国民を見付けられまし
ため、

一同は沈黙。

祖父 在りもしない諸国民は見付けられな

長い沈黙。

西田 残念なけり改らためて考へよといな

祖父 仮にいたとしても、政府の行爲によつ

て戦争が起きるのであるから、平和を愛
する諸国民は戦争を阻止すべきだ。

西田 これ、すごく大切ですよ。学校では何と

教しえられていません、

法子 教しえられませんか。

祖父 国民に知られては噂がばれる。

祖母 気付いても知らぬ顔してたんだ。

法子 知らされたらかつたことがニョツクです。

祖父 ^{コト}正面な議論は避けて来た。説明は三百

代言。

西田 本当のことを知すの怖いです。

祖父 前文を書いた学者は、この程度のこと
が判つていなかった。国際政策のイロハ

のイを知らなさんだ。

法子 国と国の関係を性善説で考えていきます。
祖父 その通り。それを因果と呼ぶ。性善説に基づく法律は有難くも面白いお経の様なもの。法律は性悪説でなければならぬ。

西田 そうだと思ひます。

祖父 燕の風景を見て、日本人は馬鹿者と思う国民が居る。美しい物も知らぬと思う。

祖母 あの国の国民はそう思う。

祖父 日本へ観光に来て日本が好きになる。

56

国民によつては好きの内味が異なる。日本は平和で安全で豊かで、高い収入が得られ、お人好しの日本人相手にホロ儲けが出来ると憧れる。日本に憧れるとは、物が物にくだいと侵略を考える。国民性として自然な考えである。これは調査済みである。

西田 エーッ、侵略を愛する諸国民である。

法子 外国人によつては、俺は軍事大国の国民だから、日本人に対して威圧的で無礼

56

でよいと考えている。

西田 心の奥が判らぬ、マナーの問題と考えている。

法子 外国人観光客を案内して、本心を隠している人に気がきます。観光ではなくて、高売かスパイとする気です。

祖父 日本人は正道でお人好しだから、奴等の腹黒さを勘付かぬ。脳天気なものだ。

法子 平初ホケしています。

西田 一寸待って下せり。一般の観光客がそ

んな野心を持っていませぬか、

57
祖父 民族によつては、世界征服の野望を遺伝子で受け継いでいる。

西田 怖ーリ、私達、そんな人達と接触しているのですか、

祖父 野望達成のために国際法を破る。この民族には法を守る精神は無い。良心も無い。

西田 法を守る考への無い国はあります。

祖父 国際法を破るといふ目には落ちるか知つ

た上で武力で威嚇する。

中田 そうしてあります。

祖父 弱小国を武力で黙らせ侵略する。思いつく
ようにしよう。

西田 ハイ。

祖父 野望は破滅に導く。アフリカの植民地
争奪戦で世界を敵に回す。独裁国は外か
ら見ると強そうに見えるが内は末期ガン
。権力は必ず腐敗する。組織は必ず腐敗
する。腐敗した軍隊は役に立たぬ。金食

58

58

り虫いや。収賄が当然の権柄であるから
汚職は根絶できぬ。汚職撲滅は反乱を招
く。権力闘争は敗者からの報復を招く。

身の危険を軍部に頼って護る。軍部は勇
ましい愛国心を強調して、忠誠を誓う。
強硬な対外政策はエスカレーターで引き
返せぬ。軍部に取りつて有言となつてク
レタターで倒される。これが独裁者の運
命の法則いせ。

法子 国家滅亡の原因は独裁者の間に蓄積され

る。

父 その通りじゃ。憲法の理解は軍事の理解も必要とする。

法子 請議をお願ひします。

祖父 島国の日本を海軍で攻撃する。植民地の支配に海軍が必要である。二次大戦で

英回太平洋艦隊を日本海軍に撃沈させ、

ヨーロッパ諸国はアジアの植民地を失つ

た。海軍力の強化が必要である。空母一

隻は、わが航空自衛隊の全戦力に匹敵す

る。空母は大きくて的は大きく、よく命

中する。海戦で敗れんと国はとびる。

法子 艦上史で習っております。

祖父 潜水艦の接近を恐れて、潜水艦抑殺レ

ーター網を津波する。それが敗因となる。

市田 その理由を教しえて下さい。

祖父 言わたり。敵はこんなことも知らず加

かに設置していらる。

市田 何かの考案してシートを下せり。

祖父 身の危険を感じて逃げた高級将校が提

伏した情報を利用できる。キブアニダテ

イクは亡名の常識だろう。

西田 そうです。情報を提供して亡名が許す

祖父 情報提供者は亡名希望者。亡名先での

資本も必要だろう。

一同は沈黙。

祖父 提供された情報で、艦隊を全滅できる。

西田 ここ考えられます。

祖父 戦史には、その種の例が山ほど明記さ

れてる。要するに、亡名者の続出する

国は戦争で敗ける国じゃ。

西田 でも、強そうですか。

祖父 自衛隊は強そうかと、強いかう強そうに

見せる必要はあり。新幹線を杉原で運

舟できた国が強り国じゃ。

西田 判りような気がしません。

祖父 弱りから強そうに見せる。弱り犬がど

吠えよ。弱り国ほどパレードをし、ミサ

イルを発射する。実験と開戦に命を供わ

せ実用既備になつてから、破壊するがよい。

それ
まま

62
面白 一折懸命やつてゐるのに見透かされて
りて、お気の毒。

祖父 憲法前文と戦争につりて理解するとな
この程度の常識で十分だろう。

法子 カタ憲法第二十条は信教の自由は、ひび
かた鳴えて貰う。皆は耳を登して聴く。

ひびひ ハイ。いりですか、憲法第二十条
、信教の自由は、何人に対しててもこれを
保障する。いかなる宗教団体も、国から
特権を受けず、又は政治上の権力を行使し

てはならぬ。

法子 それまで。カは第二十条を祊が誤も
ニニ憲法第二十五条 すべて國民は、身
康で文化的な最限度の生活を営む権利
を有する。

西田 カニ項は祊に暗誦させてニニニ國は、
すべての生活部面につりて、社会福祉、
社会保障及び公衆衛生の向上、及び増進に
努めなければならない。

一月は拍手。

祖母 トニイ。

トニイ ハイ。

祖母 勉強に身が入つておらぬ。野球が上手

でも勉強が出来なければ、一流選手には

なれない。高校に入ると勉強できな

祖父 その通り。

祖母 次は、この機会にひさかの神楽舞を見

て貰います。西田さん、お義十や二よく

見て下さい。

西田 ハイ。見て下さい。

62

祖母 ひやか。

ひやか ハイ。

祖母 おマエは、平成の天鈿女命アマノウズメノミコトいぬ。世間

を明るくしてくれ。

ひやか ハイ。では寝んいさせて頂きます。

私が考案した振り付けを覚えて舞ります

祖母 政子と明美は従ひて踊つて神楽舞を習

え。

政子と明美 ハイ。

ひやか少し後に立つ。

62

ひみがは両手に持った鈴を振りながら
神楽を舞って舞台を一周する。

政子と明美は、ひみかの後で、ひみ
かの舞りを見様見真似で舞う。

舞い終わると、一同は拍手。

あおう。

祖母 ハイ。

立ち入ったこととお尋ねします。

祖母 どうぞ。

先程お最中やにお、誠にとして差し上

げましたが、一坐子さんのアルバイトをさ
れてりるのでしやうか。

祖母 本人に答えさせしやう。ひみか。

ひみか ハイ。

祖母 政子、明美は下つて。

政子 ハイ。

政子と明美は元の場所に戻る。

ひみかは西田の前に来る。

西田 アルバイトの練習をしてるのですか。
ひみが 年始年始、春と秋の大祭に雇われま

す。

祖母 巫子が多いと神様も偉くて、お参りした気持になるそうです。

西田 そうでしようね。巫子さんはお参りをはなやめに盛り上げるスターです。

祖母 巫子は若くて見栄えがすよ、嫁が選ばれるのでバイト代が高くなる。妹達も巫子をやらせようと思っています。

祖父 神様はありがたがり。

ひみか 神前結婚式にも呼ばれます。

64

西田 可愛い巫子さんか舞うと、結髪式が神々しくなるでしょう。

祖母 ひみか、巫子をやつて何に気が付いたか、ひみか 神様が縁がることです。

祖母 巫子はパートだが、年を取っても縁がる自営業をやりたいと考えた。

西田 エッ、高校生の女の子が...

祖父 貧困家庭の子供は目の着けどころが違

祖母 光明皇后教の教祖様にならねたへ改ま

つた口調で、教祖様、数々のご無礼をお許し下さい。

ひみかに向つて合掌。

祖母 信者にたりそう友人の前では、^{ウチ}孫娘としてではなく、教祖様と呼んで恭々しく手を合ませます。

祖父 判りやすく言うとして、信者獲得のためのサクワウ。

65
西田 エツミ、こゝに、笑ひながら、お誓十ヤニは適任です。

65
祖母 信者がりなウれば、教祖として^{ウチ}崇つて世々^{アト}にぬ。お布施^{アツ}が入りぬ。

祖父 宗教は儲かる。

祖母 漢字はよく考えて作つてある。信者の文字を横に並べて一字にすると、^{アツ}儲かる。

西田 エツミ、こゝに、お誓十。

祖母 教祖様、光明皇后教の由来をお語り下さりました。

ひみか 光明皇后教祖が夢枕にお立ちにたり

光明皇后様の教しえを世に広めよとのお
言ひががすりました。

祖母 ひみかの神楽舞をい覽になつて、白羽

の矢を立てられた。

ひみか 光明皇后様は、第四十五代聖武天皇
の皇后で孝謙天皇のご生母であらせられ
る。僧カニシ盤カニシ眞カニシを支援し仏教を広め、悲ヒヤニイ入ヒヤニイ院
多セヤ比セヤ施セヤ薬セヤ院を設け、六アガ部アガ民を救済された。
光明皇后は教は光明皇后様を神とアガ尊アガめ、皇
后様の教しえにより、信者の心に光明を

光アガすアガこしを使命とします。

66 祖父 立アガ派アガる教理いや。神と仏のカウテイルも
気に入られまういや。

ひみか 神と仏をアラスする和、神と仏が争
あぬ和、民族が争あぬ和、これ、和の精
神なるぞ。

祖父 見事なこいつけでござります。日本人
は、和を持ち出せば反論しなり。日本人
の弱点によく気が付かれた。

祖母 ことある毎に信者を集めておりますが

不本意な成果になつております。

法子 トニイは野球で宣伝します。甲子園の
スタニドで光明ガールズが応援します。
私は顧問弁護士になります。

祖母 貴方のお名前を貸して下さいあ。

祖母 神も仏も信じぬことは知つておられ
る。

祖母 病気に罹るのを待ちます。

祖母 かなり先のことになる。

祖母 (西田に向つて) 入信しなせなから、早い

者勝ちです。年功序列制ですから。りぢ
れ、教団のガードマンとして、衆参両院
の議員になつて頂きます。現世のご利益
は盛り天山です。

西田 考えさせて下さい。

祖母 ガニと論断されると、すぐ入信して下
さい。

祖父 高売熱心いせ。

祖母 間もなく、若くて美しい教祖様の下に
XY又487アニさなかうと、信者が殺

到着する

西田 市場調査されていませうか。お爺チヤンの様に無信仰の人が多いいんです。葬式すまぬ。墓立て日本と遺言して。お坊様を困らせよう人が大勢います。それに日本人は外国人に比べて、信仰に入れりほど知能指教が低くありません。

祖母 教祖様、お話し下さい。

ひみか (鈴を振りラップ調に歌う) 若い者には夢が無い。大学進学会が無い。卒業し

ても、職が無い。学資ローンが払えない。親が死んだら生きられない。彼氏がいない。彼女がいなり。無い無い尽しで不安で一杯。(求め)

祖母 救いを救われぬ。絶望の果、心は病む。

ひみか 病んだ心は患者では治せぬ。四時間経つと腹が減る。腹が減ったらシヤン・バルシヤン・妹は人を殺す病。年収百万円の春は年収一億円に妹はする。

西田 テロリストが現れそう。

祖母 嫉妬、羨望は憎悪に変わる。破壊の衝動、仕返しは正義に変わる。

ひみか 有名タレント、政治家をスキヤンダ
ルで引き摺り下ろすニュースを聞くと楽
しくなる。

西田 週刊誌買います。テレビ見ます。

ひみか ザマーミロ快楽症です。引き摺り下ろす
祖母 テレビで有名になりテレビで
のはお決りのコース。ザマーミロ快楽症
はモニスターになつた。

祖母 私達貧乏人は心配を。観望いせ。
祖母 寛容の精神は消滅した。
祖母 金持ちは無慈悲。無慈悲なから金持ち
になれた。金持ちは寛容でない。下の者
に上よりく当をば、下の者は上の者の其事
を暴露して仕返しをする。

祖母 後鉄砲いせ。
西田 それ、何ですか？

祖母 戦場で憎まれて上達が部下に撃た
れたこといせ。弾は後から飛んできて来る。

祖母 今に嫁つたこといやない。

ひみか 光明皇后教は貧困ビジネスの被害者、窮民を救わねばならぬ。

西田 そうですね。救わねばなりません。

芸子 宗教は貧困ビジネスです。

祖父 その通り。金儲けの一種。ひみかが後20年もすれば、後光が差の教祖。凍れかけた栗のように金が儲かる。

西田 貧困者から救げませぬか。

祖父 カラクリがめさ。

70
祖母 後光の差の教祖を目標して、今は冥想し、次は神降ろしの術を会得する。

西田 すべういり。

祖母 貧乏から抜け出さねばならぬ。一家が力をあわせて協力する。

西田 無気力な母子家庭に話した。

祖母 貧乏人は考える時間がたつぱりと有る。光明皇后教で失敗したら元の貧乏人にカムバックいせ。

ひみかは元の場所に戻り瞑想。

ピンポンが鳴る。

政子は玄関に向つて走る。

富山の声、もしもし、富山、申しませぬ。先日、お家を借りていたを、アホイニトを頂いて、いりませぬ。

祖母 入つて貰え。

政子の声、ハ、ハイ。

西田 お家を借りるので、か、

祖母 貸してやると言うもんか、

富山は政子に先導されて、大勢の

子供を見て息を呑む。

政子は元の場所に戻る。

祖母は富山を迎える。

富山 貝塚様は何時頃お帰りでしょうか、

祖母 ありません。サー、残業させられて

おりませぬ。お客様にお茶も出させませぬ。

富山 おかまりなく。

祖母 貴方がお越しになよまひに帰れなかつ

た場合に、返事をしろと言付めておりました。

富山

いい話でしょうか？

祖母

一家でお家を見に参りました。

富山

お氣に召されたでしょう。

祖母

建ててから年月が経つており、**建築基**

準法に適合しておりません。

富山

法施行前に建築したからです。

祖母

地震で倒壊し下敷きとなりやまず。

富山

その心配はありません。

祖母

屋根にブルーシートを張らねば雨漏り

がする。

72

富山

それは困ります。電車の窓から見えま

す。

祖母

今のままでは、居住禁止の赤紙を貼ら

れます。

富山

その心配はありません。

祖母

子供さんは成長し家を出て独立すると

家の役目は終つてゐる。貴方がたご夫妻

はマンニヨンに務うね、家は処分が。取

り壊さぶきもので。

富山

使用びヤキますので、使用してりたかきた

いのです。

祖母

実を申しませうと、家族は畳二枚に三人で住んでおります。広い家では暮らして暮らさせません。皆、そうかよなあー、子供達に同意を定す。

子供一回 暮ら着けなあり。

祖父

話を聞いていて口をはさまがたはおれなくなつた。富山に向つて、貴方は世の中の経済の仕組みがすっかり変つてしまつたことに気が付いていかり。

73

富山

えフマー私のことでしょうか。

73

祖父

そうです。土地を買い家を建てると生活は安定する。土地は必ず買値以上に値上りすること信じていた。

富山

皆村はそう考えたと思ひます。

祖父

家をローンで買って酷い目に遭つた家族が次山居る。リストラされて、ローンが払えなくなると、家を取り上げられ安く叩き売られ、残りのローンを払い、家賃を払わなくてはならぬ。

富山 ニミニ

祖父 マイホームは金食い虫に変わった。住んで

いなくても固定資産税を払わなければならぬ。

祖母 土地と家は恐しい借金神。

富山 ニミニ

祖母 住まなくなつた家と借金人に借して家賃を減らうとたくらんでいる。

74

富山 そのようには考えておりません。

祖母 取り壊し料は500万円を越す。

74

富山 その必要はありません。

祖母 更地にすれば税は高くなる。

祖父 土地は売ろうとすれば売れたいもの。

土地は買つてはならぬもの。家はローンが終了頃、壊れ始め了。

富山 ニミニ

祖母 リホームは500万円を越す。

富山 ニミニ

祖母 リホーム業者の口車に乗つてリホーム

しても借り手は現れなかり。そこら中は空

き家がある。

法子 タワーから見たのたけど、ニヤッター
通りに空き家が入りつりてりませう。

富山

ニニニ

祖母

家賃が一月3万円は高過ぎる気の毒。
マイナス1万円以内で済ませようか。

富山

祖母

富山

祖母

という言葉の意味でしようか。
銀行のマイナス金利はご存知ですか。
知っております。
家主から借り手に、住んで貰う料金をと
して1万円払って頂きます。

75

富山

祖母

西田

富山

祖母

世の中はすっかり変わってりませう。
マイナス1万円でも貸してあげて下さり。
話になりません。話を聞いてりませんか。
頭が変になる。これでは死にます。
考えが変わったら、連絡下さり。
富山は怒りを押さえて退場。

西田

祖父

あの方疲れておられた。
貧乏神に取りつかれてある。貧乏神は

心も体も昔なむ。^{サイ}

西田 無料でもよいかう借りてくわと頼がに
来よおもしれませんあ。

祖父 世の中は変わったんで。貧乏人は死いハいこ
とをしなかつたから貧乏なのたし、誇れ
る時とき代だいになつた。誇これが貧い乏ふなら貧い乏ふが気
祖母 無料でも断る。大おきり家は電でん気き代だいが高
くなる。

76 西田 すし詰めから開放されまやがら、

祖母 解放されて孤独にさせぬ。子供は肌を

寄せ合つて暮らすのが好い。

76 祖父 家を貸すのは貧困ビジネス。家の無い
者を助けたりない。家の無い者を飢い食じに
しておる。

ひやが 東京に人を集めてアパートを借りさせ
て、あくどく儲けた者に天罰が下さぞ。

祖母 私が育てた娘、繩文は馬鹿で仕方ない。
家は供りぬ。

祖父 これからはマイホームを持つてはなら
ぬ。マイホームが持てぬ時代に変つた。

祖母 若い者が自動車を買えぬ時代。

法子 ドライヴでデートする人はいません。

西田 あめうっこ人間は家が無ければ生きられませんが？

祖母 公営住宅に入居すれば生き残れる。

西田 くひしこ

祖母 非正規社員では家は買えぬ。

77 祖父 貧乏人に家を買わせて暑気をよくしようとした。その罪に懺悔せよ。時間結ば

安。

77 西田 あの方の子供さん、土地と家屋を相続させられると迷惑します。

祖父 売れば税金、相続すれば貯金かう税金を持ち出しになる。

祖母 ザマーミロ。

祖父 やがて、財産を残して死ぬ者はいなくなろう。ニヤッター通りと空家家は、太古の昔に売す。猪や熊が逸早く樽み付きをうらむ。偵察に来てりる。

後帯電話が鳴る。

祖母 あつこ、もしもし…… あつかりまし

た。少し遅れたのですね…… 政子は首を長くして、お父さんが来るのを待っている。

政子 お父さんから…… 立ち上り

祖母 そういが。

政子 話した。

祖母 電話代の節約。電話は大事なことを短く話す。あかつたか……

電話をかける。

政子はそこの場所を完了。

ピコピコが鳴る。

川辺の声 今晚は…… お誕生日祝いに招待されて…… 川辺です。

祖母 トニー。

トニーは玄関に向う。

祖母 お話した人物です。よろしくお願ひ申し上げます。

西田 お役に立ちたいと願っております。

川辺はトニーに先算されて登場。ナ

ヨコレートの箱を持っている。大勢の子供を見回す。

トニイは元の場所に戻る。

川辺は祖父を実力者と判断し、祖父の前に直行し挨拶する。

川辺 コンビニ^{セブン}24の川辺です。貝塚縄文さんと同じ夜で働いておりました。

祖父 それはどうも。

祖母 いろいろしやいます。母です。

西田 母子家庭支援機構の西田です。お辞儀

申しております。

79 川辺 よろしくお願ひ申しませう。

迎りを見回し政子を見つる。

川辺 誕生日祝いのお子さんです。

祖母 政子、前へ

政子 ハイ。

川辺の前に立つ。

川辺は政子に祝儀袋とチヨコレートの箱をプレゼントする。

川辺 誕生日、おめでとう。

80
政子 ありがとうございます。おいさん。
祖母 今後のことを考えて、抜け目の無い判

断。ありがとうございます。

会話は途切れる。

政子は元に戻る。

政子 次に逢った時、チヨコレートが美味し

かったと、お礼を言います。

80
祖父 お利功さんじや。

祖母 祖が育てていらる。

祖父 未おそろしい。

80
祖母 どうぞ、お座り下さる。

川辺 ありがとうございます。

祖父に一礼してソファに戻る。

祖父 法子、お客様にお接待をして。

法子 ハイ。

茶を入れ川辺の前に運ぶ。元の場所
に戻る。

川辺は一口茶を飲む。

川辺 大勢の友達がお祝いにいうつしやって
いますねー

祖母 視力は、

川辺 こころと申しますとこころ

祖母 免許証更新の時、どーサツのかいって

部分はトかぶと聴かれましたよ。

川辺 女フ、視力がすね。1.0あります。

祖母 眼鏡が要らぬと言ふことは、勉強な

ったと言ふことだ。

川辺 父も母も目が好い人です。

祖母 好い遺伝子を受け継ぐことになる。

川辺 近眼にならぬように気をつけておりま

す。

祖母 状況の判断が悪いので、勉強しながら

たと早退点した。

川辺 そやば、どうもこころ

祖母 会長は国政選挙に出馬するそうであ

川辺 ハイ。出馬せよとの要望を沃山頂台し

ご要望に答える決心をした次第です。

祖母 ブラック企業の帝王、身体検査に合格

しました。世間にはザマーミロ快楽症

の患者が手ぐすね引いて待ち伏せており

ます。

川辺 会長はクリーンなイメージを持たれて
おりません。経営で培った識見を政治の場
で活用しようとするのは、世界的風潮で
す。

祖父 財務官僚のパニリたなつて、消費税の
20%値上げが必要と宣伝しておられる。

川辺 事実とは異なる報章がされております。

82
祖父 消費税のおかげでスーパーやコンビニ
の倒産は無くなった。20%の純利益

82
が追加を受け取って、どう使いますか？
隠すのも大変でしょう。

川辺 女房う、おつくやられることを理解で
きません。

祖父 税金をいまいし、脱税しようと智者を
働かやてゐる者に、現ナマの税金を取り
扱わせていると言ふこと。

祖母 サルでネをすくうようなもの。

川辺 それは誤解です。コンピュータが正
確に計算しております。

祖父 売りとげの集計に一寸細工すよめは、
コムピユーターの得意技でしよう。

川辺 ニニコ

祖母 お爺チヤン。婿にいめは止めて下され
川辺 エツミ智にいめマ

縄文は帰宅する。ケーキ、料理等を
沃山下げてりる。

子侯産は荷物を受け取りテーブルへ
運ぶ。

縄文 準備して。

法子 ハイ。

子侯はテーブルに料理を並べ、パー
ティの準備を始めよう。ケーキに点火。

縄文は母子を見詰め、ハグする。

縄文 可憐リリ。

明美を見詰め、ハグする。

縄文 可憐リリ。

ズビーベットで眠っている藤子を見
詰める。

縄文 お爺チヤン。お祝いに林で下さつてあ

りがとうござりまする。

祖父 此所に来るのが楽しくぞ。

政子 プレゼント貰った。

解文 ありがとうござりまする。

祖母 家賃はマイナス1万円と伝えて置いた。

解文 その条件で、貸す気ありませんか。

祖母 なし。

解文は西田に向う。

84 解文 お忙しりとごうを。御足労を願って申

し訳ありません。

84 西田 私の仕事の範囲と去之ておりました。

解文 よろしくお願いいたします。

祖母 顔触れはそろったようじゃ。

解文 いらっしやりました。

川辺 お招きを頂いて、ありがとうござりまする。

す。

政子 プレゼントを貰った。

解文 ありがとうござりまする。皆様、遅れて

帰ってすみません。

祖父は川辺に向く。

祖父 子供の誕生祝のため、定時に帰る
たいパートにサービス残業させたブラッ
ク企業ですわな。

川辺 こここそお帰りませう。

縄文 一寸失礼します。

奥へ入る。しばらくして、現れる。

ブリーフを持っていく。

縄文 誰のブリーフ

武男 僕のじゃないか。

武男 僕のじゃないか。

縄文 誰のブリーフ

85 トニー コーヒー

縄文はブリーフの片方に足を入れて

踏み付け、片方を両手で一杯引いて

ブリーフを引き裂きゴミ入れに入れる。

縄文 わが家の男の子はブリーフ、禁止。男

の子は冷やせねばならぬ。判つたか、

トニーは武男を頷く。

縄文 パジャマ持って来たのブリーフ

川辺 モールで買った。

86
縄文 約束通り、今夜泊るでしよう。

川辺 ミミミ あめうミミ その前に、
誕生日祝

に、お友達は何人参加してきますか？

縄文 皆、私の子です。

川辺 高校生も？

縄文 そう。全部、私が差んた子夜。

川辺 まさか？こんなにも多りは言わなかつた。

縄文 何人いるかと訊ねたか？

川辺 貴方は三十代と言った。

祖父 若く見えれば、男はそれで満足するものか？

縄文 私、嘘を吐いていません。聞いてくれた時、39才でした。

川辺 エーッ！

祖父 39才は三十代。人ッ人ッ人ッ

祖母 私心配になつて視力を聞いた。

川辺 ミミミ 離婚したことば聞いています。

祖母 バッ、サンイヤ。

川辺 エーッ！ そんなに多く？

祖母 貴方は四人目の婿殿。皆、歓迎するだ

らうぞい

子使全員 歓迎します。

川辺 エーッ！一才、待つて下さり。

縄文 皆さーん。聞いて下さり。

一同は縄文に注目。

縄文は川辺を中央に立たせる。

87 縄文 この方は、八人目のお父さんです。

子使達は拍手。

川辺 エドッ！一才待つて下さり。突然ニ

87

どう言うことですか。

縄文 私、妊娠三ヶ月です。

川辺 エーッ！

祖父 おめでとう。

一同 おめでとうござります。

子使達は元の場合に戻る。

川辺 何故、もつと早く知らせてくれなかつ

たのですかー

縄文 嬉しいこと、おめでたい発表なめで、

この日を選んだの。

川辺 モつと早く言つてくせよと、今かうでも遅くないと思ひます。

祖母 待つた。もつと早く言えよ、どうしたの？

祖父 気を見て返事としかりと、男を下に下ろした。

西田は席を立ち、川辺の所に立つ。

西田 赤子ヤニのお父さんと認知しますね？

川辺 突然、言われまして、正確に答えようか？。一寸待つて下せ。

西田 エンディングですか？

川辺 ニニニニ

西田 赤子ヤニが生れるような行為と、たね？

川辺 貴方に答える必要はない。

西田 その言葉で、神の態度は表れました。

祖父 赤子ヤニの顔を見れば、白令の子と判る。

法子 疑いがあればDNA親子鑑定とて下

さい。貴方を相手取つて訴訟を起します。

祖父 裁判で白黒を着けよと後味が悪い。

感情のもつれば、生れる子と不幸にする。

西田 赤子ヤニの女として、出産前後の休業

問の庄消費、出産費、出産諸費用、大学

卒業までの養育費を負担して下さいね。

この場ではつきりとお約束して、姪婦

を安心させて下さい。

89
川辺 エーッ、

祖母 夢しておれば、エーッ、と申言おぬも

の。男らしく、返事をして下さい。

89
西田 赤子ヤニへの義務が重なります。

川辺 寝耳に水です。何も話してくれなくて

、突然、言われまーても。

縄文 貴方は何十回も夢している、と断って

くれました。

西田 夢をヤニカリたのでしょー、

川辺 夢していると言いました。

縄文 夢し合えば、赤子ヤニが萎れることは

小学生でも知ってります。

祖母 子皮達、そうおをこー

子皮連 小学校で習います。

川辺 考えさせて下さい。

祖母 本心が読めた。金を払いたくない。逃がようとしていろ。逃がさぬ。

西田 貴方がこの場で言ったことは法廷で証言します。そのため、出席してあります。

解文 ありがとうございます。

祖母 赤十ヤニが生れると判ると、嬉しうでしよう。

90
川辺 女、ハイ。

祖母 父親の自覚が芽生えた。おめでたい。

祖母 めでたい。優秀な子が生れる。

祖母 皆さん。妊娠を讀ミ了取を取って、解文の妊娠を祝いましう。

子供全員 賛成

祖母 解文を中心とした。歌う

問、解文の腹をリミカルに撫でる。

去るは葉つこりさ状光を撮影する。

祖母

それでは「生れておりで
の1、2、3、ハイ。

「合唱します」

全員合唱する。

歌 生れておりで

愛は守りし 生命を作る

小さな生命は 大きく育つ

母さんのお腹 暖かい やわらかい

鼓動を聴いて ぎゅゅんて

足を伸ばして 手を伸ばし

健やかに育ち

91

91

生れておりで 待ってこよ

この胸を抱いてあげる。

祖母

引き続きマタニティマークの装着式を
行います。光明皇后教祖様、お杖いを
お願ひ申し上げます。

ひみか ハイ。

御幣を持って縄の前に立ち、

御幣

き高く揚が頭を下げる。

ひみか

子は親の宝 家の宝として国の宝、母

なる体 病魔を払うり 病魔を運ぶ蚊を
払うり 健やかな子を産したまえ
御幣と縄文の頭上で数回振り目礼し
て立つ。

縄文は頭を下げてお祈りを受ける。

ひびかば、川辺の前へ行き御幣を保
持したまま巖分も口調が宣する。

ひびか

よこしまなる心見ゆるぞ。神を信ず
る信せざるを問わす神罰は下る。神を
信せざる者神罰を逃れし例なし。心せし。
タメニ

静かに元に戻り瞑想。

祖母はマタニテイマークを川辺に渡
す。

祖母

着けてあげて。

川辺

ミニヒミニハイ。

マークを縄文に着ける。

祖母

女の勲章じゃ。

縄文

泊るよとわがど土地とが慈悲の災害で

遠路所に着つた経験ありませんか。

川辺

はいえ。

縄文 女を、棄てりそうでは

祖父は川辺に向く。

祖父 教祖様のお告げがあつたが、貴方の心の持ち様では、身の破滅。

川辺 警告でしょうが、

祖父 その通り。身内の娘、死んだ息子が愛した女性が妊娠すれば、相手の男のことが気に掛る。

93 川辺 当然です。

祖父 品性下劣では人の土に立てぬ。

縄文 お爺ちゃん。心配無用。この人、クビ

93 にセキをしません。

祖父 会長の隠し子か、

縄文 それだろう。もつと出せしてきます。地方の社長から本社勤めに上った叩き上げで

祖父 それなら優愛。しかし、そう女見えぬ

縄文 若い社員を長い間見て来たが、

祖父 ハテ、判らぬが、

94
総文 首にさせぬように、会長、会社、重役の秘密を集めていきます。

川辺 その心遣いとは断じてありません。

祖父 創業会長は運好く法の網の目を無り抜けた者。やましいことをやうぬ会社は無い。内郎も発で倒産した。

祖母 首になつた社員がライバル会社や外国の会社に企業秘密を渡して倒産させた話を聞いていふ。

総文 首にくるけをお倒産したかつた。

94
祖父 秘密を集めるのは社員の心がまえ。入社当初から持つべき心がまえ。

総文 この人は首に出番だったので選びました。

川辺 怖い人だ。

総文 子のために、母は鬼になります。

祖父 いろいろ話を聞いた。最近の社員は、社員

の心がまえが無りかろう、首になつて泣きを見る。使ひ捨こうれてゐる。首になり

そうになつてから秘密を集めては、手遅れ。

如んが二か鳴る。

政子は、玄関に向つて走る。

中田は政子と手を組んで登場。三重
 ねのすし桶を下げて花束を持って来る。
 政子は嬉しそうに表情が変る。リボ
 ンで飾られた衣装箱を胸に抱えている。
 中田 今晚は。遅くかりました。信号機の故
 障めどうでしたか

一同 今晚は。

縄文 りらっしやりませ。お待ちしております
 した。

中田が差し出すすし桶と花束を受け

取り政子に見せる。

政子は受け取り、テーブルに置きます

に笑う。

明美 それ、何？

政子 ドレス。

明美 貝せて。

中田がすしがたぐ包装を取る。

政子がドレスを取り出し胸に当てる。

いいなあ。

祖母 さんなドレスが欲しいの？

明美 そんなの。

祖母 サニタのお爺さんに、手紙を書いたら。

明美 そうするよ。

祖母 欲しい気持ちとか、ドレスを着るとど

んなに楽しいかとかを書いたら？

明美 そうしやる。

祖母 お父さんと一緒にサニタに逢うんでし

よ。

96 明美 逢うことになっっている。

祖母 その手紙、お父さんからサニタのお爺

さんに渡して貰ったら？

96 明美 そうする。

法子 お母さん。

縋文 何？

法子 政子、それに着換えさせたら。

縋文 そうしよう。政子、着換えて。

政子 ハイ。嬉しいなあ。

奥へ入る。

中田 政子の誕生日を祝っていたとき有難う

ございました。

祖父 父親を恋しく思う女の様子はいじらし

い。いじらしいと言うても若い者には通いぬが、流が落ちそうだが。まだ幼いのかから、間隔を詰めてもつと多く面会に来ては下さらんか？

中田 ハイ。判っておりますが、実行は思ひのままだに出させぬ。たゞ、お婆ちゃんに頼っております。

祖母 孫育ては楽しむ。お婆ちゃんの役目。

中田 ありがとうございます。

97
縄文 親子水入らずで、この居間に泊つて貰います。布団はパーティーの後に用意します。

中田 ありがとうございます。

縄文は川辺に向く。

97
縄文 私達はハネムーンだから、星が見えよ
ロマンティックなプランダに張ったテニ
トで寝る。

川辺 テニトですか？

祖母 老人は朝が早い。私達は夜所が寝る。

法子

政子はドレスに着換えて、スキップしながら現れる。

かわいい！
撮影する。

明美は政子のドレス姿を見詰める。目に涙がめりかたて流れる。指が目と鼻を押さえる。中田と握っていた手を放し、テーブルの奥へ行く。全員は明美の涙に意識して反能しな^り。無表情を保っている。

祖父

法子は政子と中田と並ばせて撮影する。

その写真、そつちの家族に見せるのみね、

中田

ハイ。見せませう。子供にはお母がこゝろに
とは話してやりませう。

祖父

芸能人のようだが、

中田 事実、現実を隠くせよ、知らせぬことで

、苦しめることばかりませうが、隠くせぬ
偽りの写真しかお筆はありませぬ。

川辺 可愛いくて、元気で、賢いお嬢さんで
すね。

中田 ありがとうございます。

川辺 成長が楽しみでしよう。

中田 お婆ちゃんのおかげです。

西田 父は居なくとも子は育つ。

中田 深く感謝しています。

西田 妻子を捨てて逃げたのでしよう。

中田 申し訳なく思っております。

西田 貴方のような無責任な方が居るから、

奥さんも子供も不幸になります。

99 中田 申し訳なく思っております。

西田 貴方のような無責任な方が居るから、

行政は税金を使わなければなりません。

申し訳なく思っております。

下さる。

中田 すみません。

縄文 捨てられた妻から、本音で申し上げま

すが、愛が冷めたから、別れるのが幸福入
の道と判りました。これ本音です。

西田 憎め合った夫婦が延長戦を法廷で法律
 と武器にして戦うと好い結果になります
 。暴力から逃げ出したいため言い方りの
 条件で離婚すると不幸な結果になります。
 縄文 その場合でも、後から救済できますね。
 西田 出費ますが時間と労力が掛ります。
 縄文 懐しみに変わる前に別れるべき。時代は
 変りました。

祖父 そうだ。時代は変わった。

西田 中田さんは養育費を定められた日に正

確に振り込んでおられます。立派とは申
 しません。が義務を果す父親です。

祖父 自分の子が優秀だし、送金は楽いので
 しよう。成功した子役の将来を想像する
 のは楽しいでしょう。

中田 ハイ。正直に申しまして、その通りで
 ございます。

祖母 この爺チヤニは孫への支援が楽しくて
 なるぬようじゃ。

西田 中田さんは、父親の義務を果し、娘を
 サム

愛しているから、こうして娘に逢うことが
できる。送金しなければ子に逢えませ
ん。そうでしたよう。

中田 その通りです。

西田は体をカ強く回転し川辺に向く。

西田 このお家では、子供の父親が中田さん
と同じ様に養育費を振り込むので、費用
の子供への養育費が他の子供に使われる
ことはありません。

川辺 待って下せり。周到に準備された定置

網に追ひ込まれた感です。コメントする
前に考之る時間を下せり。

祖母 往生際が悪い。

西田 結替した場合も同様です。損得を考え
て結替をためうつてはいいかもしれません。

川辺

「おおニが鳴り、ドアを激しく叩

く音。

静枝の夢、助がてり。聞がた下せり。

網文 トニイ。

トニイ ハイ (玄間に急ぐ)
トニイの声 女フ、おばさん。

玄関と現れる。

トニイ お隣りの、倉のおばさんが大怪我を
してりる。(玄関へ引き返す)

縄文 まだも、(出迎える)

静枝は無音とトニイに支えられて登
場。頭と顔は白ハバスタオルでたかかれ
赤い血が大量に付いてりる。

梨花 お母さんを助けて下せり。

102 縄文 どうしたのさー

静枝 やられた。

ソファに座らせ傷を調べる。

縄文 この前より酔り。電話して。

祖母 (川辺に向って) ーーの音。

川辺 ハイ。

携帯電話を出し電話すよ。

川辺 緊急車をお願ひしきぢ、ハイ、落
着いて話します、大怪我です。頭を割
られて血で真つ赤です、えつと名前を

10.3

ここに知りません、隣りの奥さんです。ここ
えつと住所は斜の推帯の住所で、古くそ
えつと、東海道市太閤五蓮池通う、蓮
池田地B棟1001です。ここに急いでハイ
ハイ意識はありまぢここに居るけぢぢ。

電話を切る。

川辺

すぐ来てくれようです。

ピニピニが鳴る。

縄文

まだ、開け方りで。

トニイ

ハイ。

10.3

玄関近くに立つ。

静枝

追って来た。怖い。

縄文

大丈夫、トニイも男も居るから。

静枝

酔っ払っているから何をするか見当が

つかないんです。

縄文

大丈夫、今度こそ絶対に許しては馬

目。

静枝

ハイ。

縄文

診断書、必ず貰つとくのよ。

静枝

ハイ。

縄文 DVで訴えるのよ。

静枝 ハイ。

縄文 こんな大怪我させた。私は絶対に許さ

せんわいの。

静枝 こっこ

縄文 訴えれば、確実に離婚できます。

静枝 ハイ。

縄文 警察に頼むとストーカーを止めさせて

貰えます。

静枝 ハイ。

104

縄文 貴方は、ハイ、ハイと言うけれど、本

当にやる気あるの？

静枝 あります。

縄文 警察に迷が込めば、最重に守ってくれ

る部屋があるの、知っていました。

静枝 いろいろ。

西田 警察、裁判所、行政、母子家庭支援機

構、世界は貴方の味方です。忘れないう

下さる。

祖父 警察に通報した方が好い。

祖母 110番。

川辺 ハイ。

携帯を持って帰へ入る。

お二お二が鳴り、トマーを叩く音。

縄文 慰謝料を取って、生活費を取って、養

育費を取るのよ。

静枝 ハイ。

縄文 あの男、団地から叩き出して下さ

静枝 ミミミ住宅、変えて貰います。

縄文 この大怪我をチヤニスに変えて、梨杏

105

チヤンとの新ーリ生活を始⁴めるのよ。

静枝 ハイ。

オホツカヤ

縄文 ハイとだけ返事されるも覚束無い。お

母さんを励まして。

梨杏 ハイ。お母さん、お父さんと別れて。

私はお母さんの味方。

静枝 そうしてくれこのママさんがとう。

西田 離婚した母子家庭が生活に困窮したハ

まうた、行政はサボートします。

お二お二の音。トマーを強く叩く音。

川辺は奥から現れた。

川辺 パトカーは、すぐ来てくれます。

為の寺 オーイ。静枝、帰ってくれ、俺が悪い。

かつたミニ一丈ここを開けてくれミニ
一寸、顔を見せてくれ。

縄文 その顔、人に見せられないでしょう、

静枝 ミミニハイ。

祖父 大声を立てられては近所迷惑。

西田 貴方は保護され、支援されませぬ。母心して、

縄文 決まってきた、

静枝 ハイ。

縄文 決心をはつきりも伝えて下さり。

静枝 伝えませぬ。

縄文 トニイ。ドアを開けて、旦那さんを

此所に連れて来て。

静枝 危り。危いぞ。入れなで下さり。

縄文 大丈夫よ。

トニイは縄文の目を見て、玄門を開

けよことを確認し、玄門に向う。

トニイの寺 おいさん、

奈の怒号 コラーッ！

奈はキッチンナイフを持つた右手を
トニーに掴まれながら、トニーを引き
摺って登場。

梨香 お父さん。やめてえ。

法子はラニドセルからバイニを取り
出し時刻と状況を記録し、撮影する。

奈は静枝に向つて突進する。
トニーは必死に止める。

祖父は両手を振げて奈の前に立つ。

總文と梨香は静枝の体を庇う。
中田は總文を守る位置に立つ。

川辺はテーブルの後へ下る。

奈はトニーの手を振りおろし、ナイ
フを構えて祖父と対峙する。

梨香は奈を宥めるために立ち上り奈
に近づく。

祖母 危リ！近寄るな！わが子も殺す、大畜生

奈 なんかど！

祖母 法子や二が危リ (立ち上つて奈に向う)

中田 危リ(祖母を制止す)

祖母 武男トトイは原の背後から女撃すの構え。
刺股は無リか(室内を見回す)

武男トトイは奥へ走る。

川辺はテーブルの後へ下る。

祖母 逃げるな(祖父を指差す)あの人を見ろ。男は戦つて死ぬ。

川辺は中田の後へ立つ。

祖母 役に立たぬ男。

トトイはバットを持って現れ、原の

胴を打つ構え。

祖父 打つたら死ぬ。正当防衛でも裁判に掛かたがよ。ここは爺さんに任せろ。

バットを受け取り、バットの先を爪
刀のよつに握り正眼にかまえる。

武男は物干竿を持って現れよ。

祖母 疲せ。

物干竿を受け取り、薙刀のようにな

段と構えて、祖父の左側に立つ。

祖父 出て行つてくれ。

奈 黙れ、老いぼれ。

祖母 老いぼれとは何か、

奈 黙れ、莫逆。

祖母 帰れ、下司野郎。DV男。

縄文は前へ出る。

縄文 奥さんに大怪我をさせて、それでも男

か、人間の屑。

黙れ、淫乱！

何かと、もう一度言ってみろ。

何度でも言うぞ。淫乱の子犬山。

109

奈 縄文

109

縄文

許さぬ。

祖母から物干竿を取ろうとする。

その瞬間、奈はナイフで縄文を刺す

うとす。

祖父

小手。

バットで奈の右手首を打つ。

ナイフが落ちる。

奈

アイタツ！

しやがんで左手でナイフをつかもう

とする。

祖母

お脛スネ。

物干竿で奈の右脛の内側を払う。

奈

アイターツ、

尻餅を搦く。右手を横にしてふう下

ゲ、左手で右脛を押さえる。

奈

やりやがったな。たかですまさんで。

祖母

縄文。お仏壇から、おれを持って来い。

縄文

おれつて。

祖母

へらぎ口が叩けぬようにしてやる。灰ハイ

神樂を立ててやる。

カケラ

縄文

おかつた。

ひみか

粟へ入る。

カケマシ

灰神樂は神の許し詠う神樂。類縁な
る武器なり。仏を崇う家カケマシに山と積る。

縄文は線香立てを持って現れ祖母に
手交す。

祖母は線香立てを受け取り奈の前へ
行く。

祖母

灰神樂。

線香立ての灰を奈の顔に掛ける。

原 ワーッー

左手を目に当ててよ。

原 見えぬ。やりやがったか、一ツツ殺して

やう。

祖母 強がりと言うな。こつちが明コリで。

原の体を観客に向ける。頭髮、顔、

衣服に灰が付着している。

祖母 尋達、見たか？

子枝 全員、見た。

祖母 ^{メッブ} 目貴しの術じゃ。覚えとり。将来、役

に立つ。

川 祖母

この男を生かしておれば、後何人の

女が泣きを見よか判らぬ。有^カき動物とし

て駆除する。一竹を武男に手渡すし

祖父からバットを受け取り、原の後

に立ちバットを大上段に振りかざす。

祖母 係険に入つとじか、

原 そんなもめには入らぬ。

祖母 死んで係険を成せぬ者。敬^{イニ}祖様、引導^{ソウ}す

と寝して下され。

ひみか 獣に引込まれようぬ。

祖母 それをうち、小頭を叩き割つてやう。ハ

ットが吠えるから、

原 見える筈がなリ。

縄文 念仏を唱えろ。

原は左手を頭上に伸ばし防衛すよ。

祖母はバットを押し返すよ。

112 祖父 その年で、刑務所暮らしは辛リ。

祖母 今の暮らしより楽いかな。

祖父 その通りじやが、もぐ澤えぬ。

112 祖母 そうで女つた。

縄文 殺したう、養育費せうあせうれなリ。

祖母 生かしておこう。

祖父 おまじの傷は、奥さんに比びたう、掠

り傷。助かつたことを喜ぶ。

ピニホニが鳴るよ。

縄文 聞けて。

トニイ ハイ。

玄関に向う。

トニイに先導されて、救急隊員Aと

Bと警官甲との登場。

祖父 待つておりました。あちらの御婦人が被

害者。大至急搬送して下さり。この男が

加人。逮捕して下さり。奥さんを強ひ殺

害を抱いて被害しようとして奥さんを追

つてこの家に来た。退去を求めたところ

この女性、縄文を指差すく殺害しよう

として、あめナイフで切り掛つたので、

正当防衛として、ナイフを叩き落した。

縄文

私を殺そうとしてきました。

中田

その通りです。

奈

このお爺さんはバットで俺を殴り、お

婆さんは物干竿で俺の足を叩き、バット

で殴り殺そうとしてた。目に何か入れた

。目が失明する。医者を呼んでくれ。

甲は奈の目を見た。

救急隊員は静枝の傷を調べ低り声で

問診している。静枝を立たせる。エス

コートして玄関に向う。静枝は静枝の

後を追う。一行は退場。

祖父 そのナイフを、この殺人鬼が振り回し

ました。(ナイフを指差す)

乙は捲つてビニール袋に入れる。

法子は撮影する。

甲 姓名は、

奈津二、40才。職業は会社員。

祖父 そんなことは、今、聴かなくともよい

。殺人未遂と家宅侵入で逮捕して下さり

。一件書類を書くために、聞いておかげ

ばならぬことは判じが、この家を見ても

通りバーンステイパーテイをしよう。早く

逮捕して此所から連れて行つて下さらん

か、

綾文 明日、私が働いてくるコンビニへ聞き

に来て下さる。

甲 必要なことは聴取しなればなりません。

法子 それなら、これをどうぞ。何時何分に

何が起きたかを5011で記録してあります。

ハイニターをき渡す。

甲は目読み驚き、賞讀した表情で法子を見よ。之にき渡す。乙は目読する。

甲 完璧な記録だ。

乙 そうです。

甲 エフと、この記録を賞領したのはいつ時計を見て時刻を記録するしお名前は、

法子 貝塚法子、イワヤ。これも、お返しします。

法子。家族の記念写真も入っており、そので、メモリーが終了次第返納して下さり。

甲 判りませう。

法子 見て下さり。

モニターを見せる。

法子 ナイフで母を刺殺した様子にています。強い殺意が現れています。

甲はカメラを返り取り、乙と法子もニターを見よ。

甲 完璧です。

法子 メモリーをお取り下さり。

甲 ありがとうございます。

モニターを取り出し、カメラを法子に返す。

法子はランドセルからメモリーを取り出しカメラに入れす。

甲 完璧な証拠です。ここまで証拠が揃えられたのは初めてです。高校生でしようか？

祖父 17才の高校生が私の孫じゃ。この家の子供は天才と天才ばかりじゃ。この天才を知っているからうごまかす。トニーを指さす。

乙 トニー選手。
甲と乙はトニーを見る。

祖父 甲子園で優勝するよ、この市が有名になさうで、ベース型の最中を売り出す計画があつたか？

乙 うあさは聞いこおります。

縄文 必要なのは、コンビニワ24の流通団地にある芝倉にホテトス。お話しします。

甲 知つております。貴方をお見掛けして
います。

祖父 君、君達、余計な時間を大勢に使わせ
てはいかん。この殺人鬼を逮捕し連行し
て下さうとかが、

甲と乙は小声で密談する。

甲 奈達三、現行犯で逮捕する。時刻三
(メモす)

乙は手錠を掛けるようにする。

原 痛い。右き首は折れとる。

甲 後から山源は受けて貰います。

両手に手錠を掛ける。

Bはビニール袋にノックナイフを持
つ。

甲 立て。

奈 足が折れている。

祖母 折れて方り。

奈の耳を持ち上げて引く。びつこを
引きながら歩よく。

祖母 歩るけはひかか。民主警察には手

緩^{スル}いから犯罪が増える。

目が見えなかり奈は乙に引かれ、跛^{ヒツエ}を
を引きなから連行される。一行退場。

祖父 片付いた。

祖母は大きな深呼吸。

縄文 これで離婚できる。離婚は誤りの修正
。早ければ早いほど好い。

西田 早まるも失敗しませんでしたか？

縄文 男を頼りにした方がいい道を選ばねば。

西田 子供の問題は？

祖母 父は無くとも子は育つ。

118 西田 冥は、母子家庭を支援して感心いよこ
とでせが、夫に頼らざる自立しようとするの
お母さんの家庭がしつかりしてハヤシ。

祖父 貧乏人ゆかりになつて、世の中はすつ
かり變つてしまつたのに、昔の結婚の考
え方のままだいや。頭を切り換へねばなら
ぬ。

西田 あの方、退院して、離婚でケシでし
うか？

祖母

離婚できないわ。

親文

あの方、結婚を続けることも再婚すること、してはいけないう人です。要するに結婚してはいけないう女性です。

西田

ここ、何故ですか？

親文

男達が決して口にしないうことだけれど、女の私から言わせて貰う。女性結婚してよい女としてはいけないう女にふけられる。

西田

あなたもが分類されましたか？

親文

誰が分類したかは、意味がない。実際の

祖父

夜の生活から生れた経験から出た結論です。あの方は結婚してはいけないう型の女です。貴方は離婚経験が豊富な。貴方はどうですかね？

親文

結婚してよい女です。女の身はそれをき見破っていたから、私を迷乱と罵った。

祖父

それなら判よのその通りじゃ、中田に向つていところ、何故離婚した。荷が足りていようように見えた。

中田

私は若かったのです。後悔してりません。

祖父は川辺に向く。

祖父 結婚すれば満ち足りた生活になる。この家に住めばよい。

川辺 ベランダのテントで寝起きするものでしようか。

祖母 この男、不合格。

祖父 お婆ちゃんの人を見ても確か。

西田 理想的な夫です。食い逸れさせません。

祖父 その通り。

西田 この方は現在の一般的な男格と大差は

ありません。

祖父 ニニニ

西田 お婆ちゃんやお婆ちゃんの子供は、

男は働けば妻子を養える収入が得られます。

祖父 その通り。

西田 今の男の子も女の子も、自分一人で生

きて行くわけが精一杯です。親の年金に

寄生し、親の財産を食い費していきます。

そして生活保護を受けます。

祖母 結婚できる余裕は無い。子を育てられる力ばかり。

縄文 でも、子供が欲しい。

祖母 問題はそこじゃない。子供が欲しいの女性の本能。

西田 縄文さんは本能に正直で、子供を沢山の養子、子役さんも幸福です。

中田 政子さんを産んでくれて感謝してります。

法子 生れてよかったと思つてります。

西田 結婚したくて子供を産み育てた女性が

ルマザーは珍しくありません。世間は批難しません。^{が困}

中田 結婚現場は経営難となつていきます。

祖父 結婚はタレニートの宣伝に使われる。

西田 若い頃かろうフリーセックスを経験して

いよため、結婚は束縛と考へていきます。

祖母は川辺を指差す。

祖母 この人、結婚恐怖症に罹つている。

川辺 ここに病名は知りませんでした。ただ、症状

は自覚してらっしゃる。

西田 縄文さんが、最も人圍らしく生き方を

せられていきます。

縄文 ありがとうございます。大勢の子供は腹を空かしてあります。パーティーに尻り

きしよう。

祖母

待った。会場は血で汚れた。清めねば

ならぬ。光明皇后教教祖ケガによるお祓りキマ

をお願ひします。

縄文

ひみか、お祓りをして。

ひみか ハイ。

御幣を持ち中央に立つ。

一回半半内杖に整列し頭を垂れた。

ひみかお一回を見回し、御幣を捧げ

て礼をする。

ひみか

これよりこの地におりて、この家の章女、政子の七才の誕生を厳かに祝う

。此所に不浄の血の毒り有り。邪気は

潔んで病のおそれあり。に孰を祓り浄

めむと思ふ。この家の童女政子世に

出れること必定。夢疑うことなかれ。

この家の^{イヤサカ}孤榮を請ひ願う。

御幣を振る。

ひみが オー、オー、オー、オーツ (呪文を唱えよ)

祖母 ありがたきご託宣^{タカシ}。ありがたせ、あり

かたせ。

ひみが 向つて合掌し拍手。

祖母 光明皇后教祖様に敬礼。

一同は深く頭を下げる。

ひみが はテーブルへ向う。

123
縄文 これより政子の七才の誕生日を祝いま

す。母子家庭支援機構の西田三任様をは
いめ、遠路ご参加下さりありがとうございます
ります。乾杯のご用意をお願ひ申し上げます。

一同はテーブルに集り、乾杯の用意を

します。

123
縄文 乾杯の音頭はお爺ちゃんに取つて頂き

たくお願ひ申し上げます。

祖父 大統領候補に指名されまじい光栄でござ
ります。政子ちゃん、誕生おめでとう。

誕生を祝して乾杯。
一回 乾杯。

盃を高く上げ一口飲んで拍手。料理
を食べ始める。

縄文 お茶やヤニから金一封と御馳走、奥の
文からトリスと御馳走、八景目の子の文
から金一封を頂戴してありがとうございます。

一回拍手。

祖父、中田、川辺は拍手に答えて礼を
する。

縄文 わが家の救世主西田主任様のご執席の
栄誉を賜ってありがとうございます。ご紹介申し上げ
深く感謝いたします。

一回は拍手。西田は頭を下がる。
縄文は政子とケーキの前に立たせる。

縄文 (唱う) ハッピー バースデー ツウ
ユー。

一回合唱 バツロイ バースデー ツウマ

サヨ。

政子はキヤニルを吹き消す。

一回は拍手。

政子は礼を返しケーキを切り、紙皿に盛り、子供達はケーキを取って食べた。政子、こんな風に大きく、顔の好い子に

育ててくれたことに、感謝の言葉を述べたせり。

125

政子 お母さんがパートなので、私達兄弟は全員お婆チヤニに育てられました。お婆チヤニが養育てが出れる三世代同居が出来れば、公営住宅の建設が、今日本が抱える

問題、人口、食料、教育の問題は解決します。

125

西田 エーッ、これって、七才の子のスピーチ、チヤニ、チヤニ（拍手）

縄文 政子、感謝の心をこめて、お婆チヤニに花束送ります。

政子 ハイ。

中田はテーブルから花束を持って来て政子に手渡す。

政子 お婆チヤニ、ありがとうございます。

花束を送呈すよ。

祖母(むい)を喚びしりり香りにや。政子のお
おと同じいせ。

一回は歓声をあげ拍手。

祖母 手の掛らぬ聲にやつた。ニーンニーンと
言つて小便を三々四回させぬと、小便が
したくなるよと、ニーンニーンと言つた。すぐ
にお出つが取れた。

12/6
西田 お婆チヤニの子育ての技、^{ワザ}お出らしに
祖母 實小使としがかつた。實小使をしなげ

れお可愛がうれる。

12/6
祖父 お婆チヤニが望んでいることを見抜い
ていろ利巧な子いせ。しかし、氣に入ら
れようとして他のことばやごま、一所懸
命に方るのは聞慮り。親や教師に好かれ
る傷等生。こうなうぬようこ、氣を付け
て貰いたり。

祖母 氣を付けている。

西田 お婆チヤニのお話に関連してこい好い
子になりとがり、見取れやまがこい、

祖母

ブリツ子はすぐ見破れる。その見本が
見られるとこへ川辺を見こし御気持を取
るなどよく言い聞かせておる。

西田

立派なお婆子ヤニに育てられよお孫さ
人は幸福です。

祖父

政子は将太一角の人物に古る。将太が
楽しみのや。

西田

政子ヤニは将太何になるのさー

西田

エッ、七才の女の子が政治家にマ-

祖父

政治家はお笑い芸人になるよりまや
しい。

127

西田

お笑い芸人が国会議員に天下るのがお
決りのコースですがマ-

祖父

この顔は美人顔いや。お笑い芸人風には
形手術すよのは難しい。お笑い芸人風に
恥満できん体質ではない。

西田

政治家は政治家の家系出身でなければ
当選できませんか。

祖父

この子が立候補する頃には、この子に

127

有利な状況に変わっている。

中田 お聴かせ下さり。

祖父 その逃候が見える。最近の出口調査の
イニタビユーでは、政治家が腰を抜かす
ようなデーターが出ている。

西田 エッ、それは、どんなものでしょうか。
祖父 政治に不信を持ち、腹を立てた者が投
票に奔っている。

西田 ミニミ考えられないことですよ。

祖母 ~~私は~~嫌いな奴を落とすために、嫌いな
奴の対抗候補で当選しそうな方に投票し
ている。

祖父 怒りを投票行動で示している。

中田 おそろしきことを聞いてはきました。そ
うしきまると、対抗候補を選んで投票した
のは正しい。

祖母 選んでよかったが結果は望んでいない。

川辺 対抗候補の経歴、公約と関係なしです
か。

祖母 そうなけれど。

政子はテーブルに行き飲食を始める。
中田と川辺は考え込む。

祖父は中田の目を見る。

祖父 政子ちゃんに国会のレットカーペット
を踏ませ、省庁の大臣として閣議に出席
することになった。そのため、父親らし
く骨身を惜しまず働き、学費を仕送りす
る覚悟でしようね。

129

中田

か諦です。

祖母

償いと忘れだらりかぬ。

129

中田
祖父

決して忘れません。

優秀な子は親の自慢。有名大学合格者
発表の時の親の顔を見れば判る。

中田

ハイ。ニュースで見えております。

祖父

出来の奴い子には、金を惜し気もなく

注ぎ込めよものだ。

祖母

このお爺ちゃんば、そうしてやる。

中田

見習いたりと思いません。

祖母

父親に、そう言つて貰つたので、この

誕生日祝いは大成功。目的は達成した。

西田 政治家は四世五世で、ケビン、カベン

、カニバンが必要ですが。

祖父 母子家庭を支援する担当者、体制側の者として、体制順応型の平凡な人間に育つて貰いたりと希望するのは自然。

西田 ニニニ

祖父 時代は変わった。それとは気付かぬ内に。すっかり変わった。四世五世のニバンは役に立たぬ。

中田 地方の磐石に見えませんが。

ガニニヤク

130

祖父 格差は拡大している。中流階級が担

ニテ

っていた中間管理、事務、技術はコムセコ
ーターに取って代われた。中流階級は生
き残れず貧困階級に没落する（子彦達に
向く）お父さんがリストラヤされた級友は
リ又たろうマー

子彦達は顔を見合わず。

子彦達 天山リキマ。

中田 格差拡大を阻止しようとしていますが。
祖父 阻止できぬことを承知の上で言ってる

130

る。毎リ時間結の仕事はロボットの得意
にする仕事。貧困階級には仕事が無い。
この現実を認めるかあ？

中田と川辺が小声で話す。

祖父 ロボットはスイッチを入れておけば一

日24時間休憩なしで働く。

中田 そう教しえられて、うさうさ勘付いて
いたのですが、毎リ借銀を求めて外国に
工場を建設したのは失策だったと気付き
ました。

祖父 撤退しようとしても撤退させてくれぬ

資本を奪われ、技術を奪われ、逆襲さ
れ、罵倒され、裸一貫で放り出される。
強盗の団へ札束を持って行ったような
もの。

中田 貧富の格差は深刻な問題となりまゐる

祖父 深刻にならぬと予測する。99%の貧

困階級と1%の富裕階級に分かれるだけ。

川辺 信いたくはないのですが。

祖父 国会の議員の99%は貧困階級出身

者で止められる。

中田 その可能性はあります。

西田 友んが怖い。

縄文 皆様は、やがてそのようになると勘付

りていきます。怖くて口で言えません。

祖父 この家の子孫は99%倒。

祖母 貧乏人の子がサラブレッドになった。

祖父 貧乏な政治家ほど怖い者は多い。貧乏

はカ、貧乏は全能の神

中田 判ります。貧乏な政治家は倒せません。

132 祖母 将来の国会の議員先生。立候補の演説

をーて下せ。

政子 ハイ。

中央に出て、一同に用さる。

政子 ホーイズアードガールズ・レイデイズ

アニビニエントルメン。

祖父 リリジ。

一同は拍手。

フタ

政子 我々は日本の栄光を再び取り戻す。

一同は歓声をあげ拍手。

祖父 大統領。
政子 アイラダエー。サニキムダ。サニキム

ウ。

両手の親指を立て、高く上げて振り
ながら歩く。中田の所へ行き手を
たぐ。

133

祖父 貝事反スビーナいな。
川辺 将軍が楽しサであわ。
中田 ありがとう(ちが、ニキマ)總文の腹を指
差す(あそこ)にり(ホキヤニモ、政子の

ようを育ててくやまよ。

133

西田 貧困階級出身者が政治を行なうように
かると、日本の政を憂ります。

祖母 腹を空かせた苦しさを知らぬ者は、空
腹の苦しさを知らぬ。貧乏人出身でなけ
れば、民を救えぬ。

祖父 日本は貧困出身者が国を治めると繁栄
する(あ)ことが歴史で証明できる。

祖母 豊彦彦吉、明治維新、戦後とか、思ハ
当(あ)らぬ。

祖父 世界は貧困階級が富裕階級に代つて政
治を担当する方向に進んでいく。

川辺 心配です。不母がありません。富裕階級
が政権を渡しません。

祖父 それでは認めざるが、1%がどうやって
99%を支配できるのかね、君は富裕階
級の心算かあ？

川辺 富裕階級に所属しません。

祖父 富裕階級が心配するのは当然。ゼロチ
ニで首を切り落とすことはおろし。英国では

労働党がかなり長期に政権を取った実績
がある。大きな変動はなかつた。

川辺 英国と未来の貧困階級の政権担当とは
本質的に別のものと考えます。

祖父 その通り。保守党が政権を奪還できた
のは中間階級が存在したからか。中産階
級が存在しなくては、富裕階級は支配で
きぬりのか。

中田 そう説明されても信じられません。

祖父 大変なことになるかと貧乏人が心配す

る必要はかり。何も受らな。復々人の
ままいや。金持ちにもの心配はなり。

川辺 富裕階級は意欲を失って働かなくなり
ませしか。

祖父 働らきたくなければ、働かなくとま
い。

祖母 格差拡大は、すばらしい社会を作りま
すね。

135
祖父 その通りいや。政子はすばらしい社会
の指導者になる。

135
縄文 政子の未来は明ら。政子の将来を祝
いた。

ひみが 日本人は太古の昔から、新しい時代
の到来を祈り、到来の前に祝ひ、新しい
時代を迎えよと、歌って踊った。これが
日本精神であらう。

縄文 政子の政界進出の宣言を祝ひ、支度す
ることと書きたため、踊っていただけま
せんか。

祖父 待つていた。

祖母 私も。

縄文 それでは、孫を偉大な政治家にならま

うに養育したお婆ちゃんと言いつつ時代の

到来を予知し、洋服ビキ針路を示して下

まつたお婆ちゃんにシルバを踊っていた

をききます。

祖母 待っていた。

縄文 クリスマスが近いので、ジグザグ

でシルバを踊っていたをききます。

祖父は祖母の手を引いて舞臺中央へ

出た。

「二人を囲んで半円状の列を作

る。

縄文は（口）を選んでステレオを掛け

る。ジグザグの曲が放送される。

祖父と祖母はシルバを踊る。

一同拍手。

曾祖母が現れる。頭髪に大きくて派

手なリボンをつけている。女子高生

の制服を着ている。

一同は曾祖母の出現に驚き、歓声を上げ拍手で迎える。
 曾祖母は祖母の肩を叩き交替を促す。祖母の左手首をつかんで後へ引き、祖父とホールドして踊り始める。踊りは老人らしく硬い体で、ゴクニヤリに踊る。高度のアクロバチックなバリエーイニヨニは見せ場で、技が決ると一同は歓声をあげ拍手する。
 曲が終つても、しばらくゴクニヤリ

ステップを保持する。
 大統領。

祖母の二人を賞讃して拍手。

一同は両方の親指を立て二人に向ける
 ホールト下す。

曾祖母は両手でスカートをつまみ、
 云が、腰を折つて西洋の淑女のような動作で礼を返す。

スツゴイ。曾祖母やニのスタミナ、
 つてもお元氣。

縄文

お爺ニヤニ、會婆チヤニの華舞を踊り
と讀みて、もう一度拍子をお爺ハニヤニ。

一回は拍手。

祖父

サニヤニ、サニヤニ。

會祖母は人垣を今けてテーブルへ行
き飲食を始めた。

縄文

次は全員参加でツイストを踊っていた
が、ツイストは腰痛予防に効果が
ありません。

一回は舞臺一面に間隙を取つて広が

る。

縄文はツイストの曲を放送する。

一回はツイストを踊る。

會祖母はテーブルを離れて一回の内
に入つて踊る。老人のツイストはツイ
ストとなった。

曲が終ると、一回は若い息となる。

呼吸を整えたり、腰、足を伸ばす。

縄文

次は最後のダンスです。じを合わせて
曲結して、紋子を盛り上げて下せる決意を

示していらたなきたく、全員揃って、ラヂオ体操のやうに踊るマカリナを踊ってりたなきます。

縄文はマカリナの曲を放送する。

縄文

1、2、3、ハイ。

全員を同時に踊り始めるため、ビートとカウントです。

マカリナの曲は長く、16拍を1ルーンティンビーと単純なファイガーで踊る。このため、飽きやすいので、途中から

フエードアウトです。

幕が下り始め。

縄文

政子のパーティーを祝っていたなき、ありがとうござります。特別に参加して下さった西田様のお帰りの時間と取りました。もつと引き留めたりのですが、残念です。後は身内で祝ったりと思ひます。ありがとうござります。

一見一